

IOWebDOC

IOBBDIOC 簡易マニュアル

<< 目 次 >>

1 章. はじめに	3
2 章. IOBDOC 基礎(用語編)	4
2.1. 帳票の構造	4
2.2. ブロック	5
2.3. 項目	5
3 章. IOBDOC 基礎(操作編)	6
3.1. Esc[エスケープ]ボタン	6
3.2. 操作モード	6
3.3. ブロックの作成・編集	7
3.4. 項目の作成・編集	9
3.5. ブロック/項目のサイズ変更	11
3.6. ブロック/項目の移動	11
3.7. ブロック/項目の削除	11
3.8. プレビュー	12
4 章. 帳票レイアウト作成前の準備	13
4.1. サンプルデータの作成	13
4.2. IOBDOC TOOL の起動	14
4.3. 用紙サイズの設定	15
4.4. 表示モードの設定	16
4.5. 非表示設定枠の表示	17
4.6. データ設定	18
4.7. 外部変数の設定	19
4.8. 計算式の設定	20
4.9. 演算の設定	21
4.10. データ加工設定	22
5 章. レイアウト作成	23
5.1. 文書の始めブロック作成	23
5.1.1. データエリアの設定	24
5.1.2. 文書の始めブロックの追加	26
5.1.3. タイトルの追加	27
5.1.4. ページ項目の追加	28
5.1.5. 注文日付の追加	30
5.1.6. 注文番号の追加	32
5.1.7. 発注先の追加	33
5.1.8. 条件文(固定文字列)の追加	34
5.1.9. 件名の追加	35
5.1.10. 本体金額の追加	36
5.1.11. 消費税額の追加	38
5.1.12. 合計金額の追加	39
5.1.13. 支払い方法の追加	40
5.1.14. 画像領域の追加	41

5.1.15. 納入場所の追加	43
5.1.16. 納期の追加	44
5.1.17. 明細備考の追加	45
5.1.18. 明細(固定文字列)の追加	47
5.2. 見出しブロック作成	48
5.2.1. 見出しブロックの追加	49
5.2.2. 項目(固定文字列)の追加	50
5.2.3. 品名の追加	51
5.2.4. 数量の追加	53
5.2.5. 単価の追加	54
5.2.6. 金額の追加	55
5.2.7. 備考の追加	56
5.3. データブロック作成	58
5.3.1. データブロックの追加	59
5.3.2. 項目の追加	60
5.3.3. 品名の追加	61
5.3.4. 数量の追加	63
5.3.5. 単価の追加	64
5.3.6. 金額の追加	65
5.3.7. 備考の追加	66
5.4. 文書の終わりブロック作成	68
5.4.1. ブロック(小計)の追加	69
5.4.2. 小計(固定文字列)の追加	71
5.4.3. 小計(金額表示欄)の追加	72
5.4.4. 小計(空欄)の追加	73
5.4.5. ブロック(消費税額)の追加	75
5.4.6. 消費税額(固定文字列)の追加	76
5.4.7. 消費税額(金額表示欄)の追加	77
5.4.8. 消費税額(空欄)の追加	78
5.4.9. ブロック(合計)の追加	79
5.4.10. 合計(固定文字列)の追加	80
5.4.11. 合計(金額表示欄)の追加	81
5.4.12. 合計(空欄)の追加	82
5.4.13. ブロック(メモ)の追加	83
5.4.14. 文字枠の追加	84
6 章. 最後に	85
6.1. レイアウト確認	85
6.2. その他の機能	85

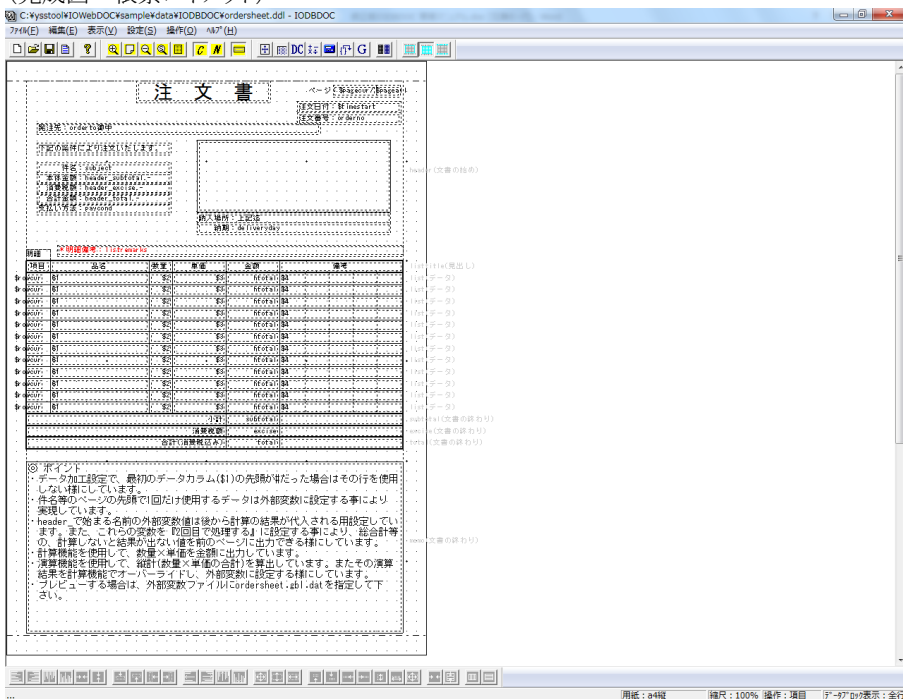
1章. はじめに

IOBDOC は、表形式の帳票を作成するための帳票ツールです。

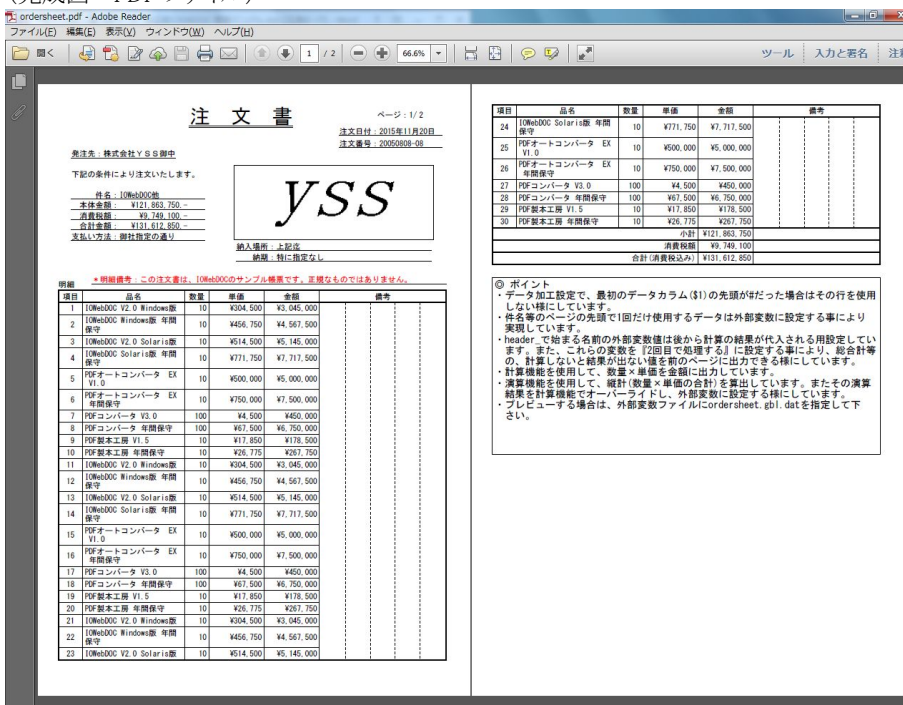
本マニュアルは短時間でIOBDOCの習得を目的としたもので、基礎が中心です。IOBDOCを実際に動かし、一連の手順を理解していただく構成になっております。

帳票とサンプルデータを例に、下記の帳票レイアウトの作成手順を説明していきます。

(完成図—帳票レイアウト)



(完成図—PDF ファイル)



2章. IOBDOC 基礎(用語編)

レイアウトを作成する前に IOBDOC の基礎用語について説明します。

2.1. 帳票の構造

IOBDOC の帳票は、7 つのブロックから構成されます。

- | | | |
|---------|-----|---|
| 文書の始め | ... | 帳票の1ページ目に表示する領域。
複数ページ存在する場合でも、必ず最初のページに出力する領域となります。 |
| ページの始め | ... | 帳票の各ページの先頭に表示する領域。
複数ページ存在する場合は、全てのページに出力する領域となります。 |
| 見出し | ... | データエリア上部の各項目の見出し(説明)部分を表示する領域。 |
| データ | ... | データの表示フォーマット、小計や改頁などの制御情報を設定する領域。 |
| ブレイク | ... | 条件によって表示可否や表示項目の抜粋等を設定する領域。 |
| ページの終わり | ... | 帳票の各ページの最後に表示する領域。(例えば小計、平均などの表示に使用します。)
データエリアと接続して表示する場合に使用します。 |
| 文書の終わり | ... | 帳票の最終ページに表示する領域。(例えば合計、平均、脚注、タイトルなどの表示に使用します。)
データエリアと切り離して表示する場合に使用します。 |

本マニュアルでは、4 つのブロック(「文書の始め」、「見出し」、「データ」、「文書の終わり」)を利用したサンプル帳票を作成します。

The screenshot displays the IOBDOC software interface with a sample invoice layout. The layout is divided into several sections, each corresponding to a block in the IOBDOC structure:

- 文書の始め (Document Start):** The top section of the invoice, including the header '注文書' and the '注文先' (Order To) information.
- 見出し (Header):** The section containing the '注文条件' (Order Conditions) and '納入場所' (Delivery Location) information.
- データ (Data):** The main table of items, with columns for item number, name, quantity, unit, price, and total. This section is highlighted with a red box.
- 文書の終わり (Document End):** The bottom section of the invoice, including the summary table with '小計' (Subtotal), '消費税額' (Consumption Tax Amount), and '合計' (Total).

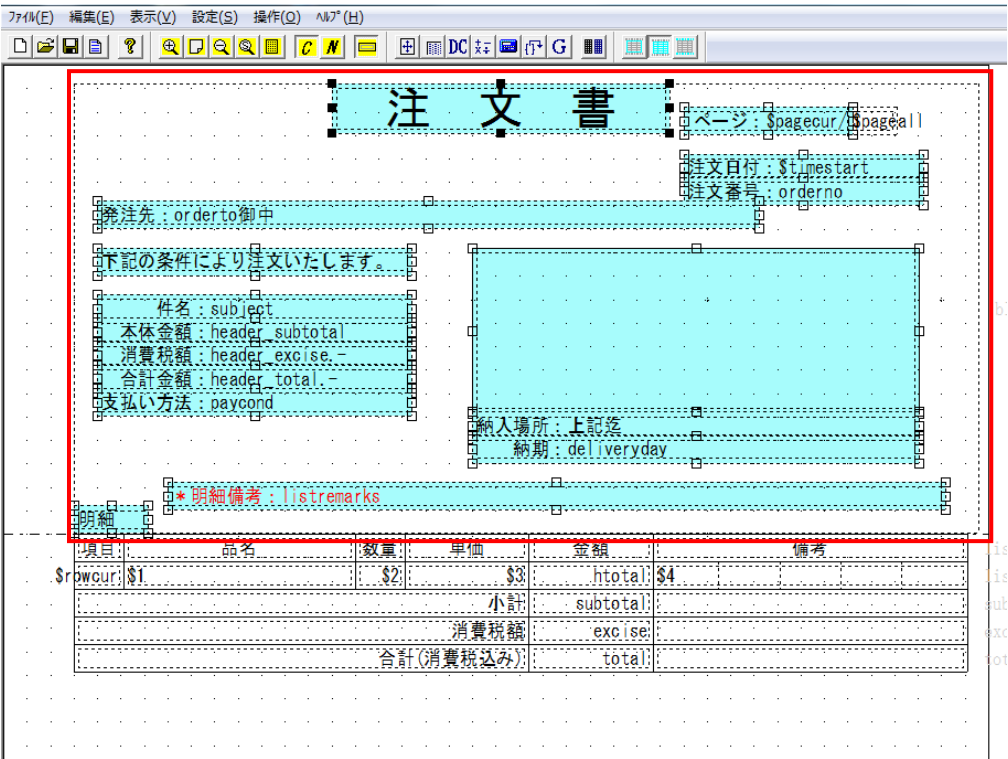
The interface also shows a menu bar, toolbar, and status bar at the bottom.

2.2. ブロック

- 複数の項目をまとめるオブジェクトまたは単位をブロックとよびます。
レイアウトを新規作成し項目を作成するには、まずブロックを作成します。
- 下記の図の赤枠で囲まれた部分がブロックとなります。
- 見出しブロック・データブロック・「固定位置に出力する」がオフのブロックは、データエリア外には配置できません。この場合は、データエリアを予め変更してください。
- ブロックは、ブロック内の項目を囲むサイズより小さくすることはできません。この場合は、予め項目のサイズを小さくしてください。

2.3. 項目

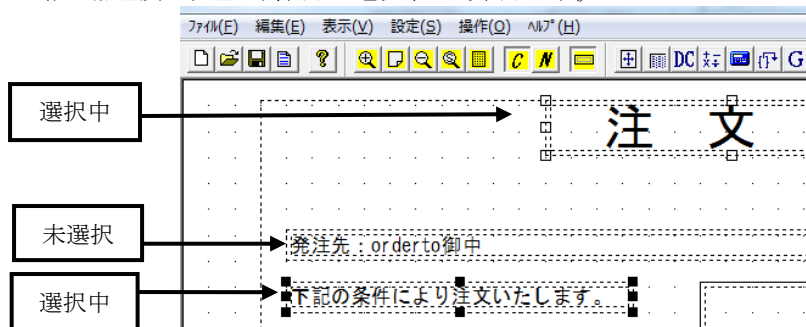
- データを出力する箇所の最小単位を項目とよびます。
- 下記の図の水色部分が各項目となります。
- 項目はブロック内に配置します。ブロックの外へは配置できません。ブロックの外へ配置すると、自動的にブロックの大きさも調整されます。



3章. IOBDOC 基礎(操作編)

3.1. Esc[エスケープ]ボタン

IOBDOC では、ブロック/項目をクリックした分全てを選択する(複数選択する)ことができます。
ブロック/項目の四隅の黒色及び白色四角表示が選択中という表示です。



複数選択ができるので、その作業の前に選択していたブロック/項目を知らない間に削除していたり、属性を変更していたりすることがあります。

Esc[エスケープ]ボタンをクリックすると、選択が全て解除されます。

作業の対象ブロック/項目を変える場合には、Esc[エスケープ]ボタンをクリックしてから、次の作業に移ってください。

その他にも、ブロック/項目の移動やサイズの変更中に作業を取りやめたいときは、確定する前に Esc[エスケープ]ボタンを押してください。元に戻ります。

ポイント!!

作業を行う時は、一回一回 Esc[エスケープ]ボタンを押すことを心がける。

3.2. 操作モード

操作モードは3種類あります。

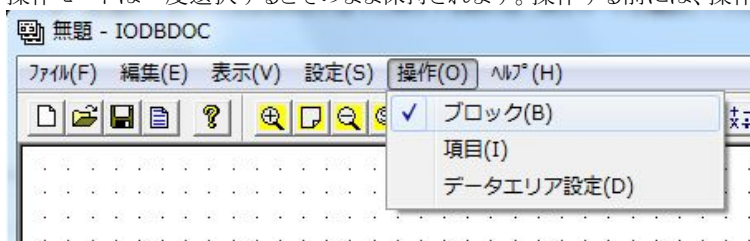
ブロックを操作する【ブロック操作モード】、

項目を操作する【項目操作モード】、

データエリアを設定する【データエリア設定操作モード】

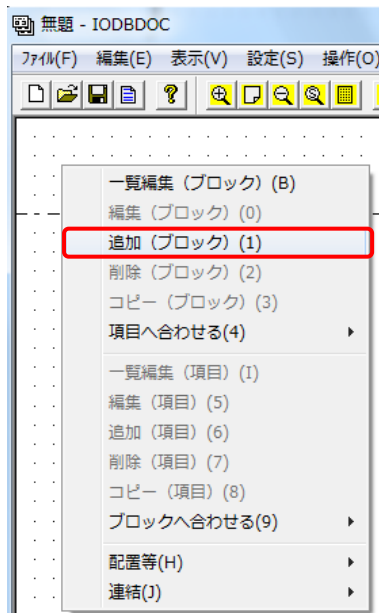
メニューバーの「操作」をクリックします。操作するモードを選びクリックすることで操作モードが切り替わります。

操作モードは一度選択するとそのまま保持されます。操作する前には、操作モードを確認してください。

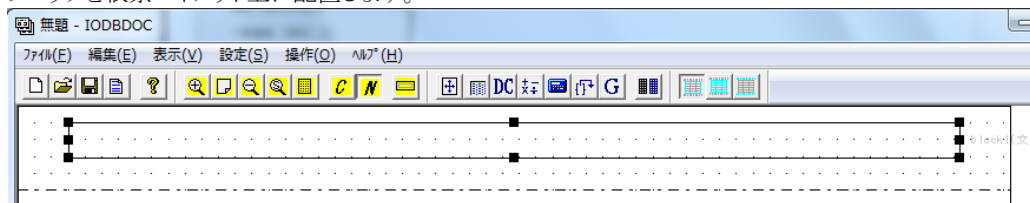


3.3. ブロックの作成・編集

- (1) 操作モードを【ブロック操作モード】に設定してください。
- (2) 帳票レイアウト上にて右クリックをし、「追加(ブロック)」を選択します。

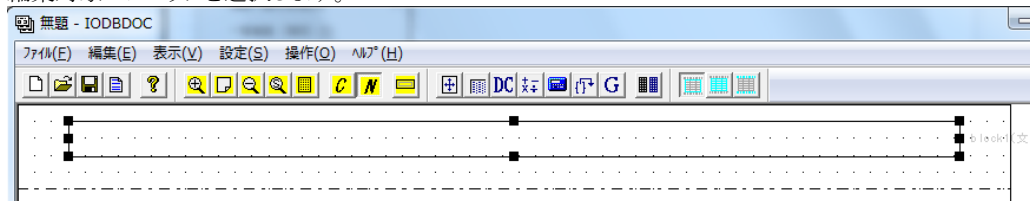


- (3) ブロックを帳票レイアウト上に配置します。

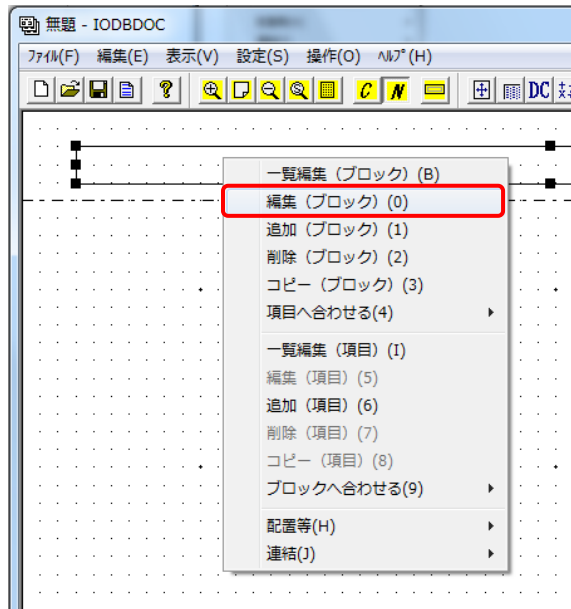


続いて、ブロックの編集方法について説明します。

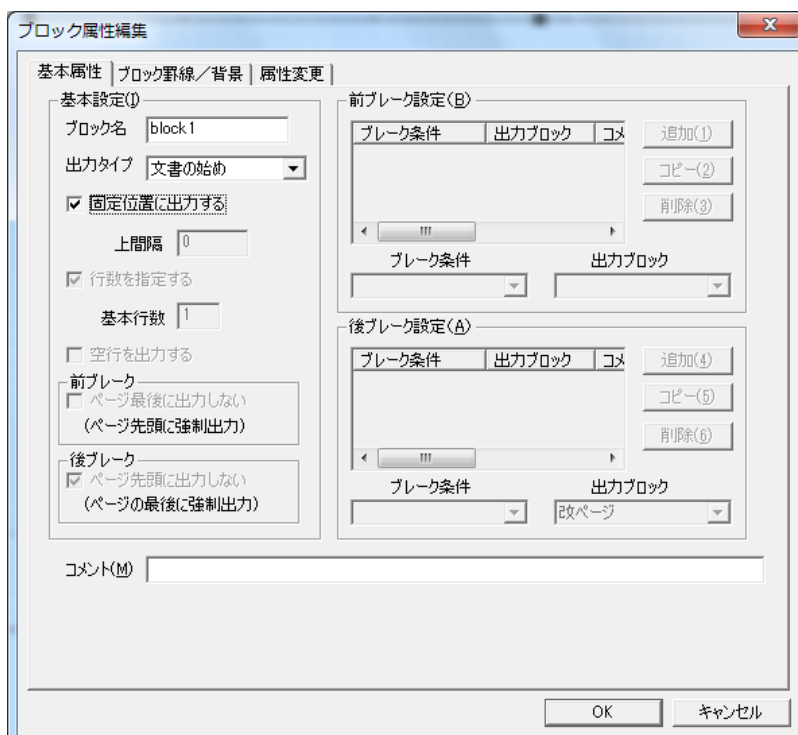
- (4) 編集対象のブロックを選択します。



(5) 編集対象のブロックを選択した状態でマウスの右ボタンをクリックし、「編集(ブロック)」を選択します。

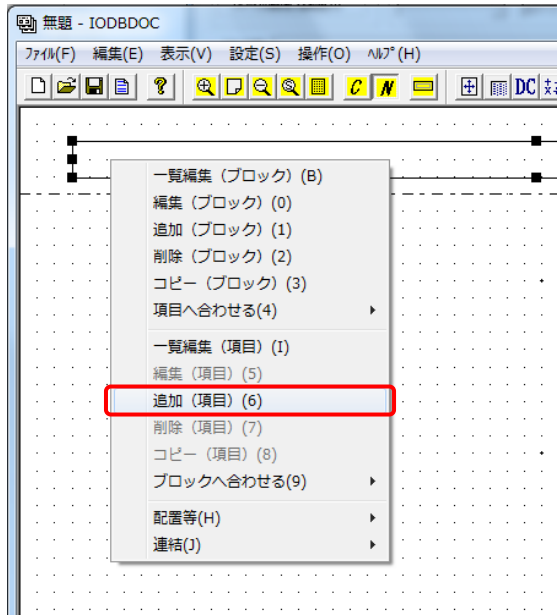


(6) [ブロック属性編集]画面が表示されます。この画面からブロック属性を編集することができます。

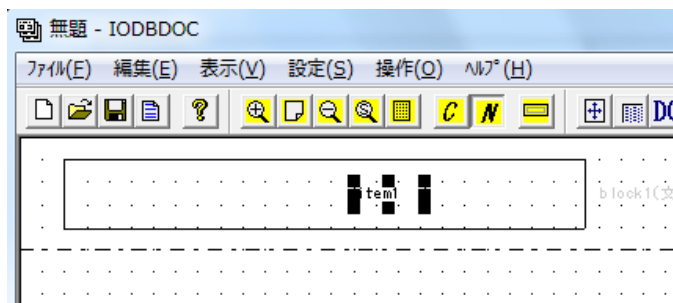


3.4. 項目の作成・編集

- (1) 操作モードを**ブロック操作モード**に設定し、帳票レイアウト上で、ブロックを選択します。ここで選択したブロック内に項目を追加します。ブロックを選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックし「追加(項目)」を選択します。

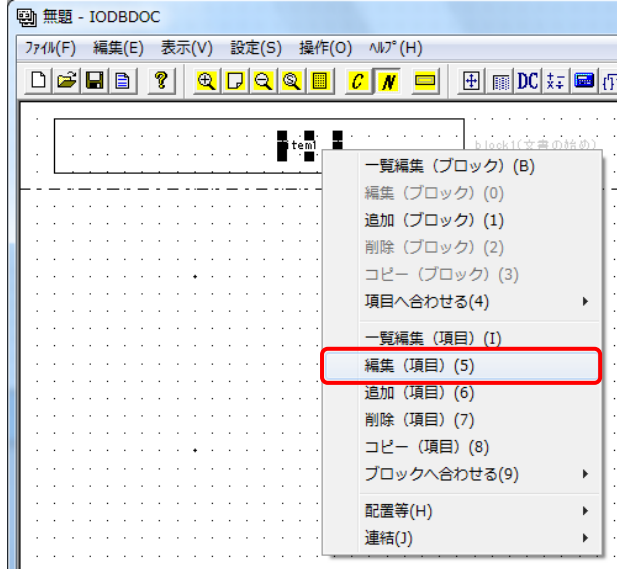


- (2) 項目をブロック内に配置します。

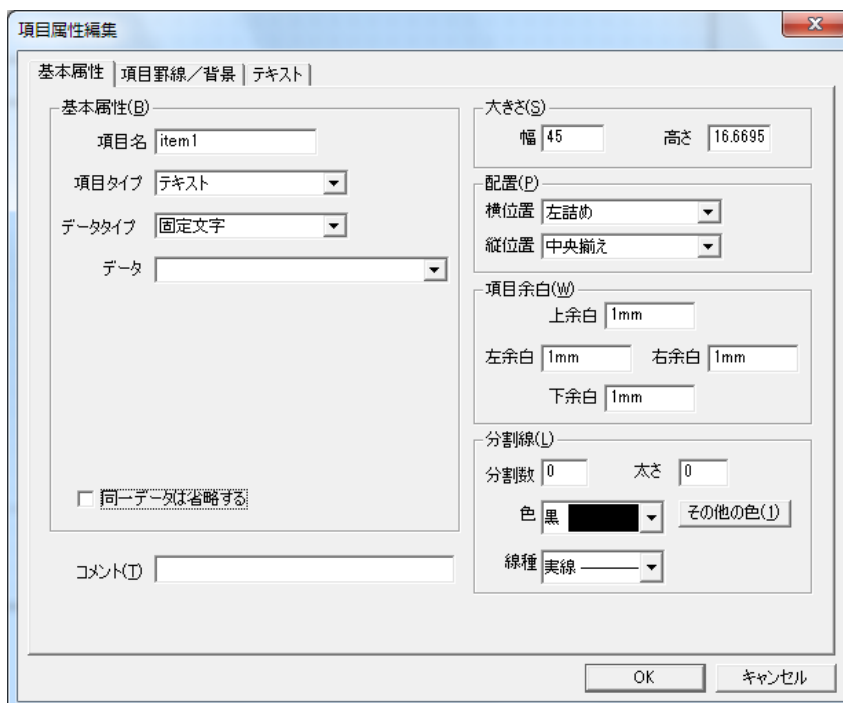


続いて、項目の編集方法について説明します。

- (3) 操作モードを項目操作モードに設定してください。
- (4) 項目を選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックし、「編集(項目)」を選択します。



- (5) [項目属性編集]画面が表示されます。この画面から項目属性を編集することができます。



3.5. ブロック/項目のサイズ変更

- (1) サイズを変更したい対象の操作モードに設定します。
- (2) サイズを変更したいブロック/項目を選択し、黒色四角をクリックします。
- (3) ブロックが点線表示され、マウスを動かすと点線がマウスに付いてきます。
点線の枠がサイズ変更後の大きさになる様にマウスを動かします。
- (4) 大きさが確定したら、マウスをクリックします。
サイズ変更を止める場合は、マウスをクリックする前に、[ESC]キーを押します。

3.6. ブロック/項目の移動

移動したい対象の操作モードに設定します。

- **ブロック/項目の移動**

- (1) 移動させたいブロック/項目を[Shift]キーを押しながらクリックします。
マウスを動かすと点線のブロック/項目がマウスに付いてきます。
- (2) 点線のブロック/項目が移動後の位置になる様にマウスを動かします。
位置が決まったら、マウスをクリックします。
移動操作を止める場合は、マウスをクリックする前に、[ESC]キーを押します。

- **複数のブロック/項目をまとめて移動**

- (1) 複数のブロック/項目を選択して、[Shift]キーを押しながらクリックします。
選択した全てのブロック/項目を囲む点線の枠が表示され、マウスに付いてきます。
- (2) 点線のブロック/項目が移動後の位置になる様にマウスを動かします。
位置が決まったら、マウスをクリックします。
複数移動操作を止める場合は、マウスをクリックする前に、[ESC]キーを押します。

- **ブロック/項目の微移動**

- (1) 微移動させたいブロック/項目をクリックします。↑ ↓ ← → キーで移動したい方向にブロック/項目を動かします。
- (2) 位置が決まったら、[Enter]キーを押して微移動操作を完了します。
微移動操作を止める場合は、[Enter]キーを押す前に、[ESC]キーを押します。

3.7. ブロック/項目の削除

- (1) 削除対象の操作モードに設定し、ブロック/項目を選択します。
- (2) 削除対象のブロック/項目を選択した状態でマウスの右ボタンをクリックし、メニューバーから「削除(ブロック/項目)」を選択します。選択したブロック/項目が削除されます。

3.8. プレビュー

作成中の帳票のレイアウトを確認することができます。

(1) メニューバーから「ファイル」→「プレビュー」を選択します。

(2) 「プレビュー」画面が表示されます。

「データ」→「ファイル:」欄にプレビュー用のテストデータのファイル名を入力します。

プレビュー

データ(D)

ファイル: C:\ysstool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\ordersh... 参照(B)...

メモ帳で編集(N) 編集(E) デフォルト(U) テストデータ作成(T)

外部変数(G)

ファイル: 参照...

メモ帳で編集 編集 デフォルト テストデータ作成

実行フォルダ(F)

フォルダ: 参照(W)...

データと同じフォルダ(Q)

PDF

☐ PDFでプレビュー(PDFファイルは、削除されません)

ファイル: 参照...

☐ 項目余白を出力する(M) プレビュー(V) 整合性テスト(S) 閉じる(C)

(3) 「外部変数」→「ファイル:」欄にプレビュー用のテスト外部変数データのファイル名を入力します。

プレビュー

データ(D)

ファイル: tool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\ordersheet.dat 参照(B)...

メモ帳で編集(N) 編集(E) デフォルト(U) テストデータ作成(T)

外部変数(G)

ファイル: C:\ysstool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\ordersh... 参照...

メモ帳で編集 編集 デフォルト テストデータ作成

実行フォルダ(F)

フォルダ: 参照(W)...

データと同じフォルダ(Q)

PDF

☐ PDFでプレビュー(PDFファイルは、削除されません)

ファイル: 参照...

☐ 項目余白を出力する(M) プレビュー(V) 整合性テスト(S) 閉じる(C)

(4) 「プレビュー」をクリックします。帳票レイアウトのプレビューが表示されます。

4章. 帳票レイアウト作成前の準備

本章では、帳票レイアウトを作成するために必要な設定を行います。

4.1. サンプルデータの作成

2 種類の帳票サンプルデータを作成します。

(1) データファイルの作成

帳票のデータファイルを作成します。このデータは、帳票のデータエリアに表示するデータとして使用します。
新規に以下の内容のファイルを作成し、任意のフォルダに ordersheet.dat のファイル名で保存してください。

(ordersheet.dat)

```
#品名,数量,単価,備考
IOWebDOC V2.0 Windows 版,10,304500,
IOWebDOC Windows 版 年間保守,10,456750,
IOWebDOC V2.0 Solaris 版,10,514500,
IOWebDOC Solaris 版 年間保守,10,771750,
PDF オートコンバータ EX V1.0,10,500000,
PDF オートコンバータ EX 年間保守,10,750000,
PDF コンバータ V3.0,100,4500,
PDF コンバータ 年間保守,100,67500,
PDF 製本工房 V1.5,10,17850,
PDF 製本工房 年間保守,10,26775,
IOWebDOC V2.0 Windows 版,10,304500,
IOWebDOC Windows 版 年間保守,10,456750,
IOWebDOC V2.0 Solaris 版,10,514500,
IOWebDOC Solaris 版 年間保守,10,771750,
PDF オートコンバータ EX V1.0,10,500000,
PDF オートコンバータ EX 年間保守,10,750000,
PDF コンバータ V3.0,100,4500,
PDF コンバータ 年間保守,100,67500,
PDF 製本工房 V1.5,10,17850,
PDF 製本工房 年間保守,10,26775,
IOWebDOC V2.0 Windows 版,10,304500,
IOWebDOC Windows 版 年間保守,10,456750,
IOWebDOC V2.0 Solaris 版,10,514500,
IOWebDOC Solaris 版 年間保守,10,771750,
PDF オートコンバータ EX V1.0,10,500000,
PDF オートコンバータ EX 年間保守,10,750000,
PDF コンバータ V3.0,100,4500,
PDF コンバータ 年間保守,100,67500,
PDF 製本工房 V1.5,10,17850,
PDF 製本工房 年間保守,10,26775,
```

(2) データファイル(外部変数)の作成

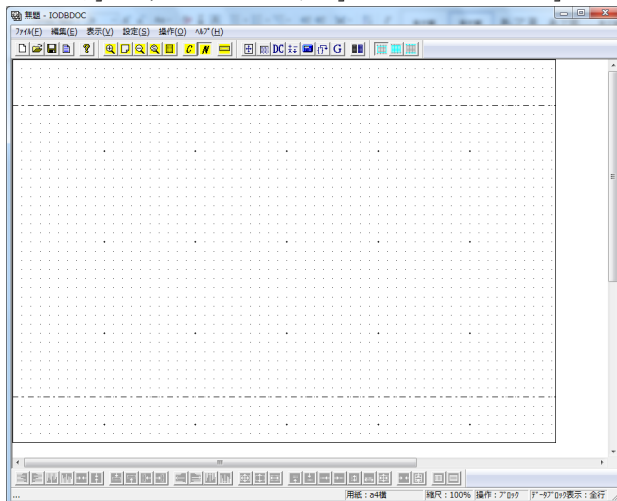
外部変数用のデータファイルを作成します。このデータは、帳票の外部変数に表示するデータとして使用します。
新規に以下の内容のファイルを作成し、任意のフォルダに ordersheet.gbl.dat のファイル名で保存してください。

(ordersheet.gbl.dat)

```
orderto=株式会社YSS  
orderno=20050808-08  
subject=IOWebDOC 他  
header_subtotal=  
header_excise=  
header_total=  
paycond=御社指定の通り  
deliveryday=特に指定なし  
listremarks=この注文書は、IOWebDOC のサンプル帳票です。正規なものではありません。  
~
```

4.2. IOBDOC Tool の起動

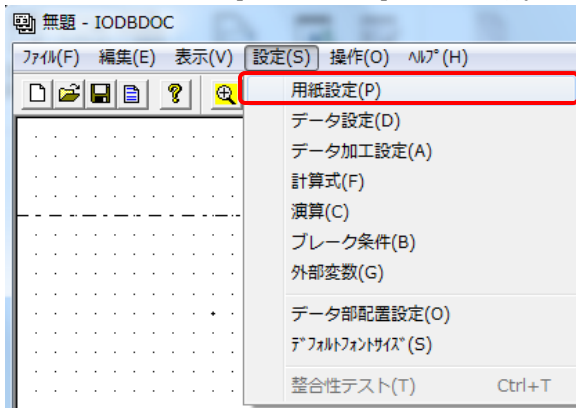
「スタート」→「すべてのプログラム」→「YSS IOWebDOC」→「IOBDOC」をクリックすると、起動します。



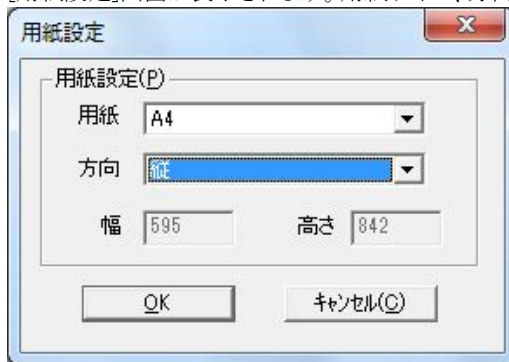
4.3. 用紙サイズの設定

用紙方向(縦、横)と用紙サイズ(A4、A3、…)を設定します。

- (1) メニューバーから「設定」→「用紙設定」を選択します。



- (2) [用紙設定]画面が表示されます。用紙サイズ、方向を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



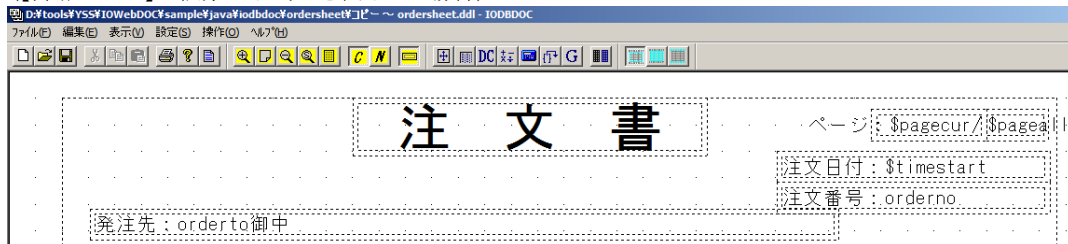
4.4. 表示モードの設定

表示モードには、【詳細モード】、【ドラフトモード】の2種類があります。

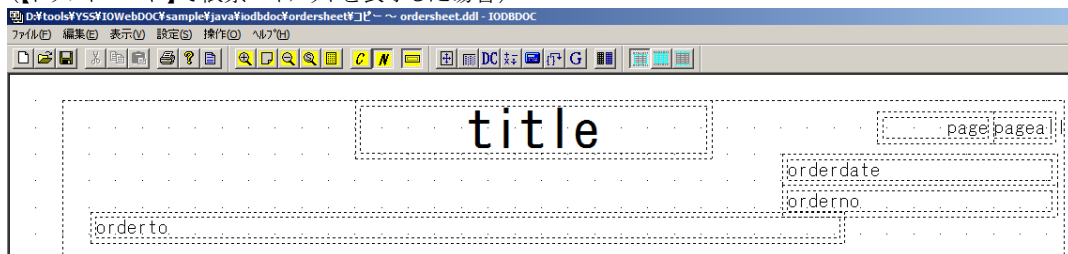
詳細モード … 帳票レイアウトに配置した項目の設定名を表示します。レイアウトの表示内容を詳細にしたい時に使用します。

ドラフトモード … 帳票レイアウトに配置した項目の属性名を表示します。レイアウトの表示内容を簡易にしたい時に使用します。

(【詳細モード】で帳票レイアウトを表示した場合)



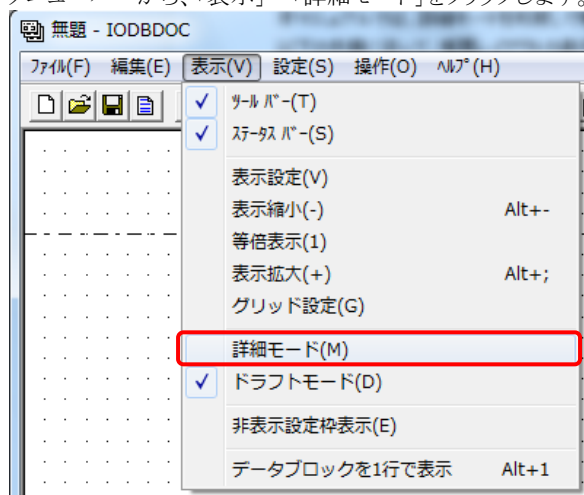
(【ドラフトモード】で帳票レイアウトを表示した場合)



本マニュアルでは、詳細モードを利用して帳票レイアウトの作成を進めます。

以下の手順に従って、帳票レイアウトの表示モードを【詳細モード】に設定してください。

メニューバーから、「表示」→「詳細モード」をクリックします。



4.5. 非表示設定枠の表示

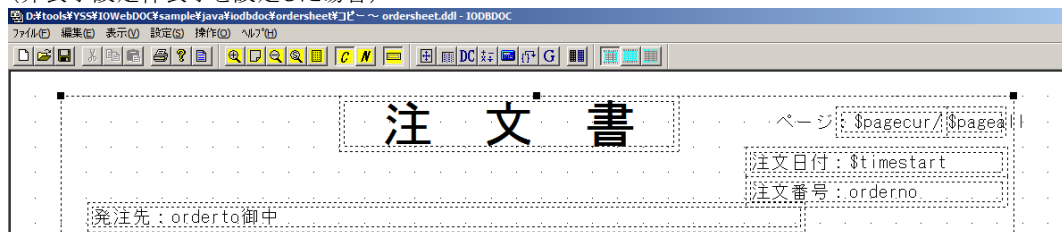
非表示設定枠とは、レイアウト上の項目枠の表示可否を設定します。

ブロックの枠や項目の枠線等で非表示に設定されている線も、設定自体を変更せずに表示のみさせたい場合に使用します。

(非表示設定枠表示を設定しない場合)



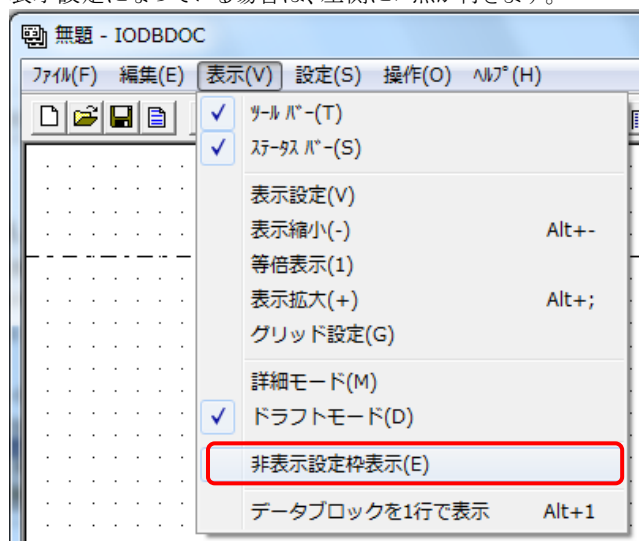
(非表示設定枠表示を設定した場合)



本マニュアルでは、「非表示設定枠表示」モードで作業を進めます。

メニューバーから、「表示」→「非表示設定枠表示」をクリックします。

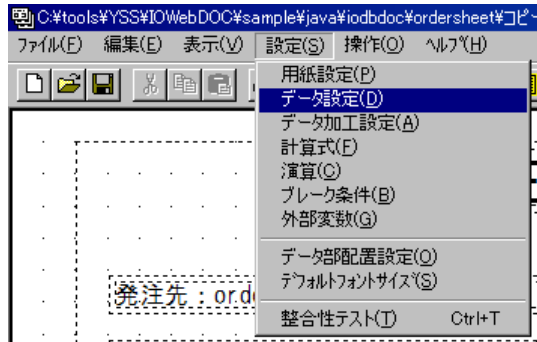
表示設定になっている場合は、左側にレ点が付きます。



4.6. データ設定

帳票に表示するデータを設定します。

- (1) メニューバーから、「設定」→「データ設定」を選択します。



- (2) [データ設定]画面が表示されます。

データ数欄にデータのサム数を入力します。入力した数分のサムの内容が一覧に表示されます。

(今回作成するデータのサム数は4 つなので、4 を入力してください。)

区切り文字欄に「,」を入力してください。

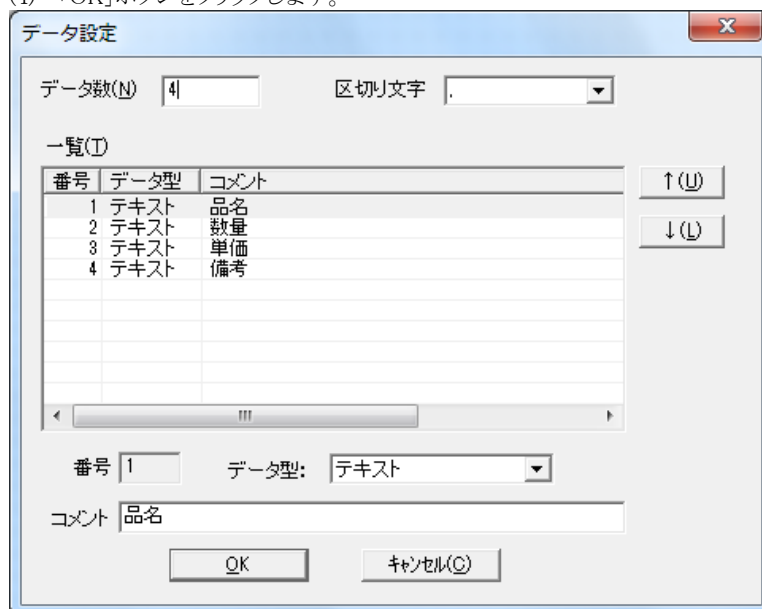
- (3) 一覧のデータ内容を設定してください。(今回は下記の内容を入力してください。)

データ型 … 通常はテキストを選択してください。データが画像ファイルのファイル名を示す場合のみイメージを選択します。

コメント … 任意の文字列を指定できます。

番号	データ型	コメント
1	テキスト	品名
2	テキスト	数量
3	テキスト	単価
4	テキスト	備考

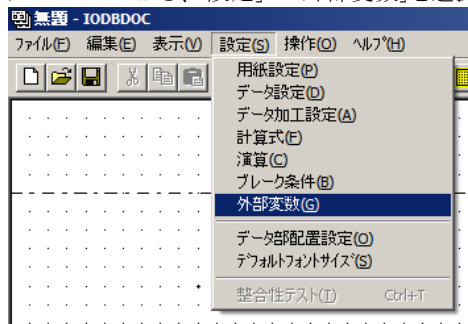
- (4) 「OK」ボタンをクリックします。



4.7. 外部変数の設定

外部変数とは、IOBDOC で使用する値を外部ファイルに保存する仕組みです。外部変数を利用することで、帳票に表示する文字列を外部ファイルから動的に変更したり、計算結果を一時的に保持したりすることが可能となります。

- (1) メニューバーから、「設定」→「外部変数」を選択します。



- (2) [外部変数設定]画面が表示されます。「追加」ボタンをクリックして、外部変数を設定します。

変数名 … 外部変数に対して名前を付けます。項目の表示内容等にこの名前を使用します。

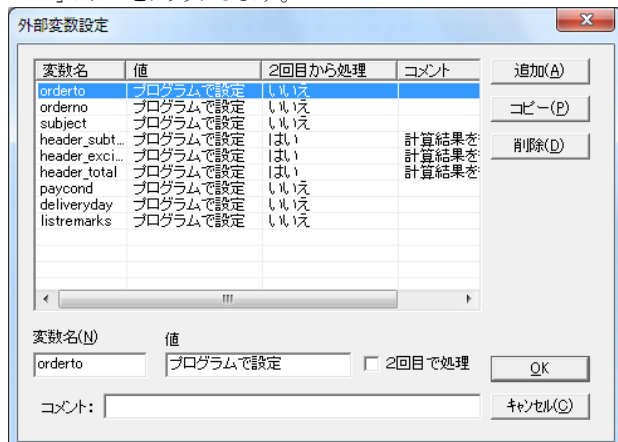
値 … 外部変数に対する値(初期値など)を設定します。ここに設定した値が、
[プレビュー]-[外部変数]-[テストデータ作成]のボタンを押した際に、自動で入力されます。

- 2 回目で処理 … チェックをするとこの外部変数を使用する項目には外部変数名がデータとして適用され、展開されます。
これにより、総ページ数や総合計等を先頭ページ等に出力することが可能となります。

(下記、表中の値には、サンプル値を記載しています。今回は以下の内容を入力してください。)

No	変数名	値	2 回目から処理	コメント
1	orderto	株式会社YSS	いいえ	
2	orderno	20050808-08	いいえ	
3	subject	IOWebDOC 他	いいえ	
4	header_subtotal	－	はい	計算結果を後から挿入
5	header_excise	－	はい	計算結果を後から挿入
6	header_total	－	はい	計算結果を後から挿入
7	paycond	御社指定の通り	いいえ	
8	deliveryday	特に指定なし	いいえ	
9	listremarks	この注文書は、IOWebDOC のサンプル帳票です。正規なものではありません。	いいえ	

- (3) 「OK」ボタンをクリックします。

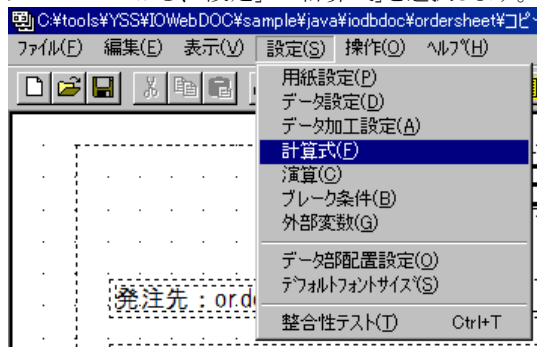


4.8. 計算式の設定

計算式は、データの合計、件数等の計算によって値を求めるために利用します。

計算結果を外部変数に保存し、帳票レイアウトの任意の場所で値を使用できるように設定します。

- (1) メニューバーから、「設定」→「計算式」を選択します。

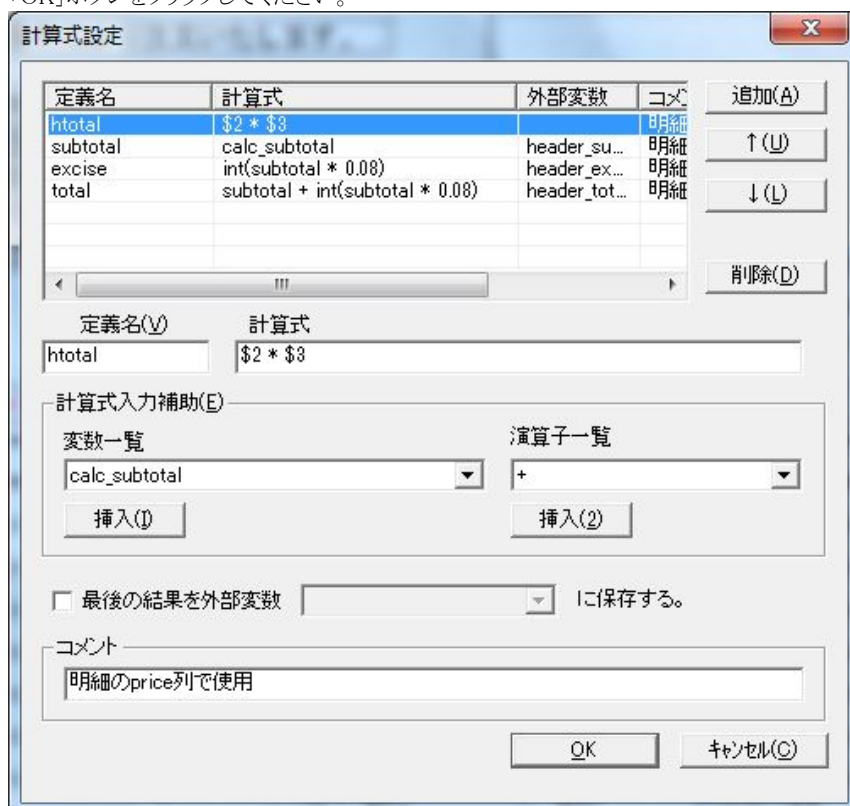


- (2) [計算式設定画面]が表示されます。

「追加」ボタンをクリックして、計算式を設定します。(今回は以下の内容を入力してください。)

No	定義名	計算式	外部変数	コメント
1	htotal	\$2 * \$3		明細の price 列で使用
2	subtotal	calc_subtotal	header_subtotal	明細の一番最後で使用。結果を外部変数に保存して、各ページの先頭で使用
3	excise	int(subtotal * 0.08)	header_excise	明細の一番最後で使用。結果を外部変数に保存して、各ページの先頭で使用
4	total	subtotal + int(subtotal * 0.08)	header_total	明細の一番最後で使用。結果を外部変数に保存して、各ページの先頭で使用

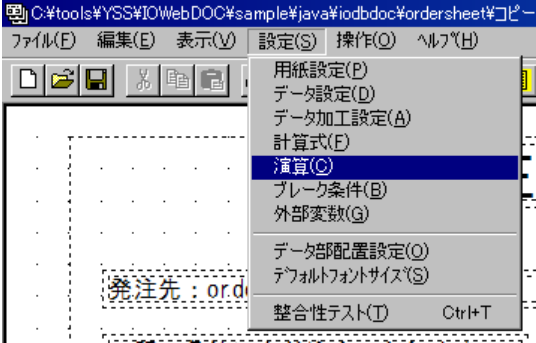
- (3) 「OK」ボタンをクリックしてください。



4.9. 演算の設定

演算は、総合計、ページ単位、ブレイク単位等の集計処理を定義する時に使用します。

- (1) メニューバーから、「設定」→「演算」を選択します。

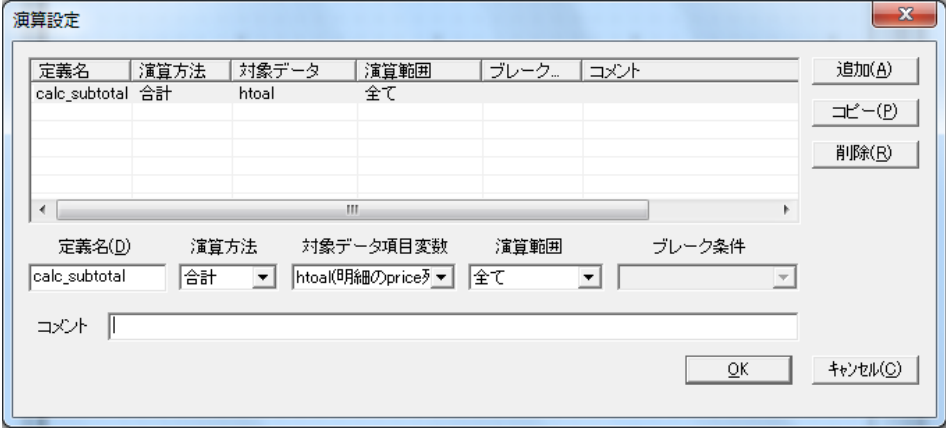


- (2) [演算設定]画面が表示されます。

「追加」ボタンをクリックして、演算を設定します。(今回は以下の内容を入力してください。)

No	定義名	演算方法	対象データ	演算範囲	ブレイク	コメント
1	calc_subtotal	合計	htotal	全て		

- (3) 「OK」ボタンをクリックしてください。



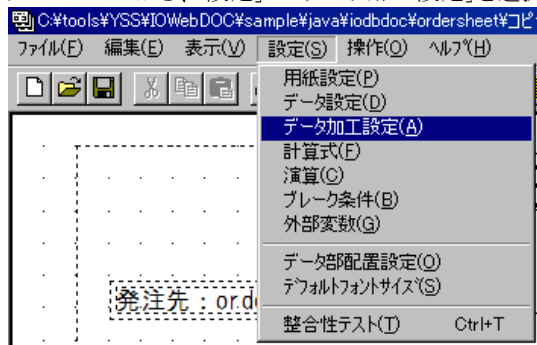
4.10. データ加工設定

データ加工設定とは、読み込むデータを自動的に加工するための設定です。渡したデータを帳票プログラム側で加工して利用することが可能です。

以下の目的で使用できます。

- 特定のデータを別の文字に変更する。(01 を○×にする等)
- 特定のデータ行を使用しない。
- 特定のデータの大文字、小文字を変更する。
- 特定のデータ中の特定の文字を別の文字に置き換える。
- 特定のデータ行を繰り返す。

- (1) メニューバーから、「設定」→「データ加工設定」を選択します。



- (2) [データ加工設定]画面が表示されます。

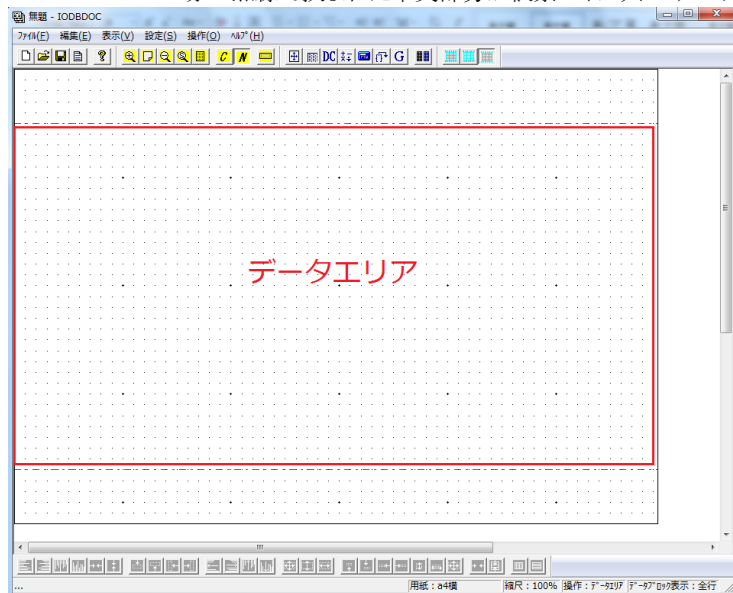
「追加」ボタンをクリックして、設定してください。(今回は以下の内容を入力してください。)

No	条件式	加工方法	データ項目	置換える文字列	文字列 (置換え後)	繰返し回数	コメント
1	strleft(\$1s, 1) == "#"	データ行を使用しない					

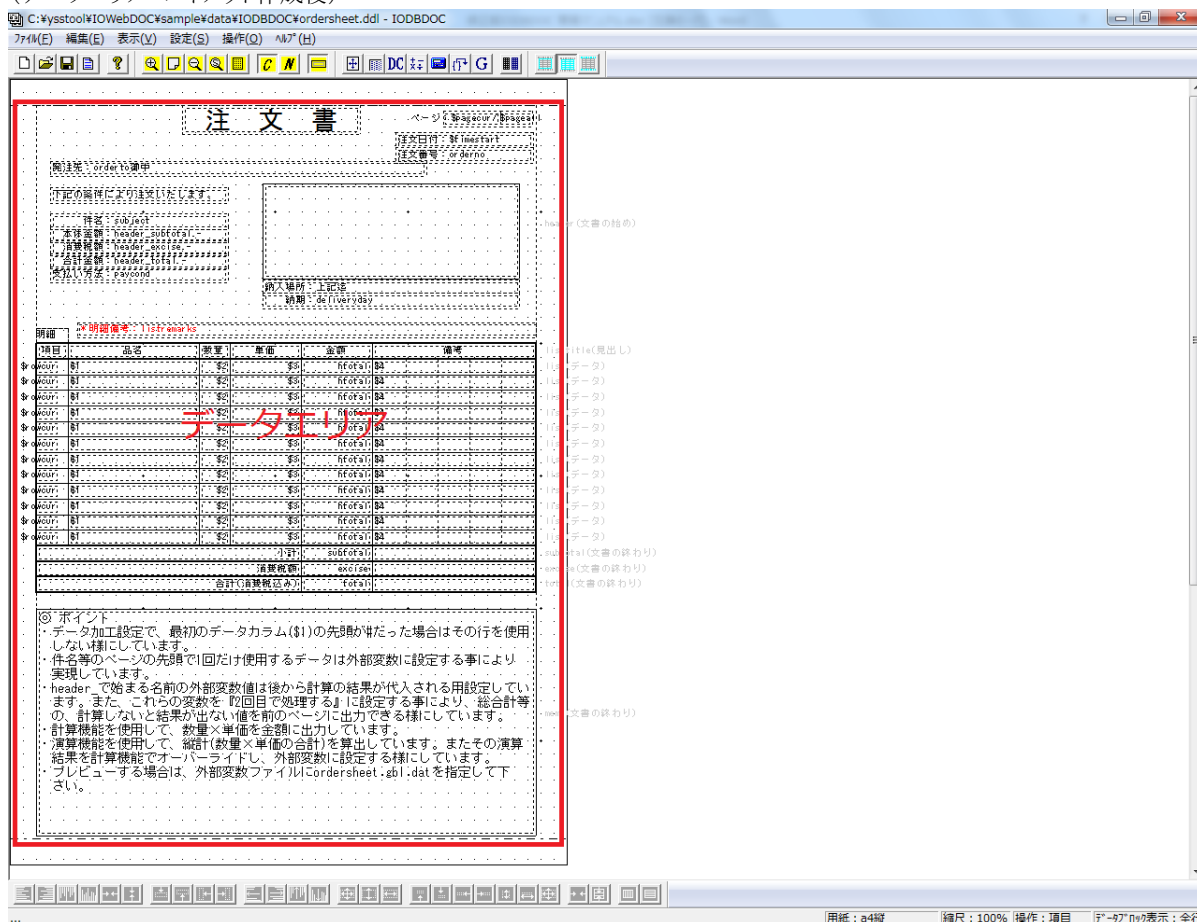
- (3) 「OK」ボタンをクリックしてください。

5.1.1. データエリアの設定

データエリア … データファイルから読み込んだデータを表示する領域です。主に見出しやデータブロックを配置します。
赤い点線で挟まれた中央部分が帳票レイアウトのデータエリアとなります。



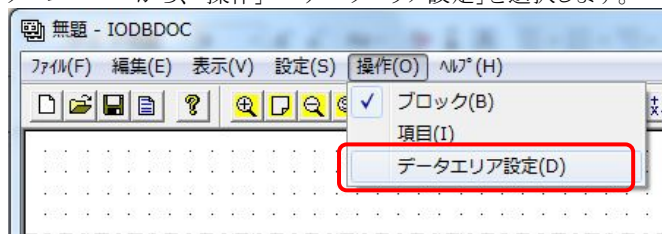
(データエリア レイアウト作成後)



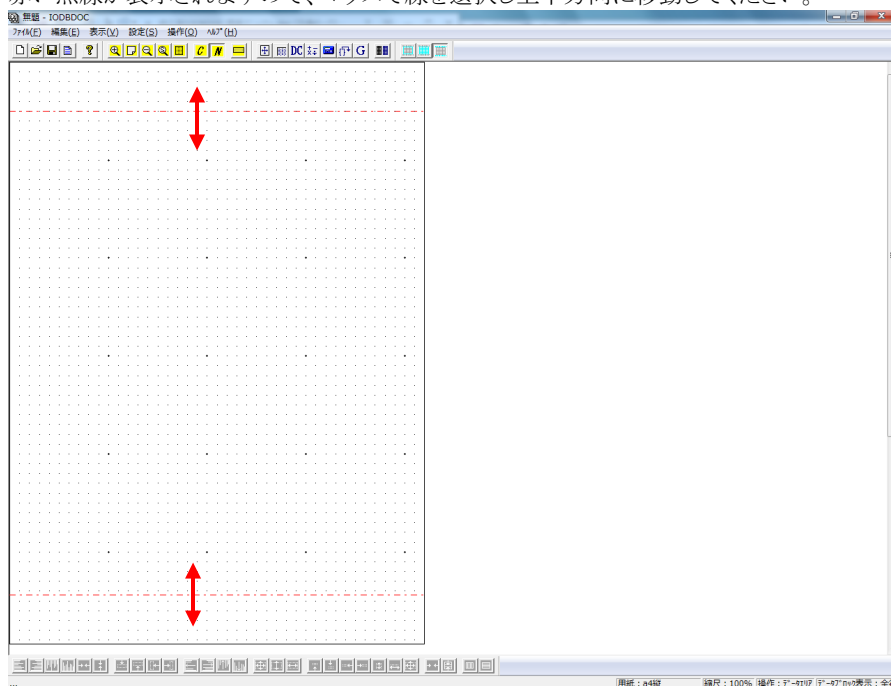
ポイント!!

帳票作成後にデータエリアを変更することは手間がかかるため、帳票を作成する前にデータエリアを設定することを推奨します。

- (1) メニューバーから、「操作」→「データエリア設定」を選択します。

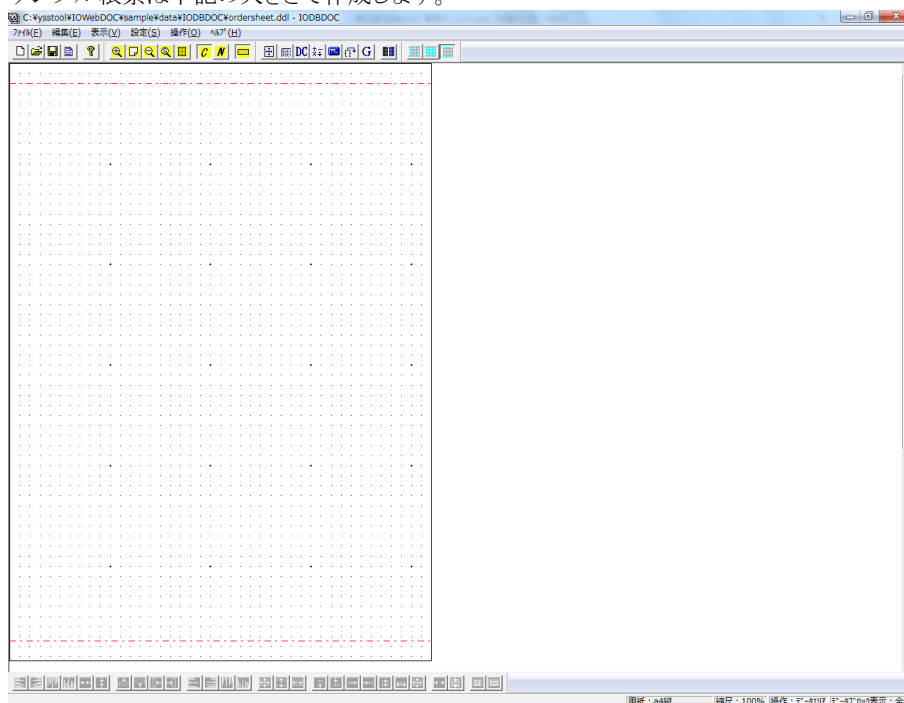


- (2) 赤い点線が表示されますので、マウスで線を選択し上下方向に移動してください。



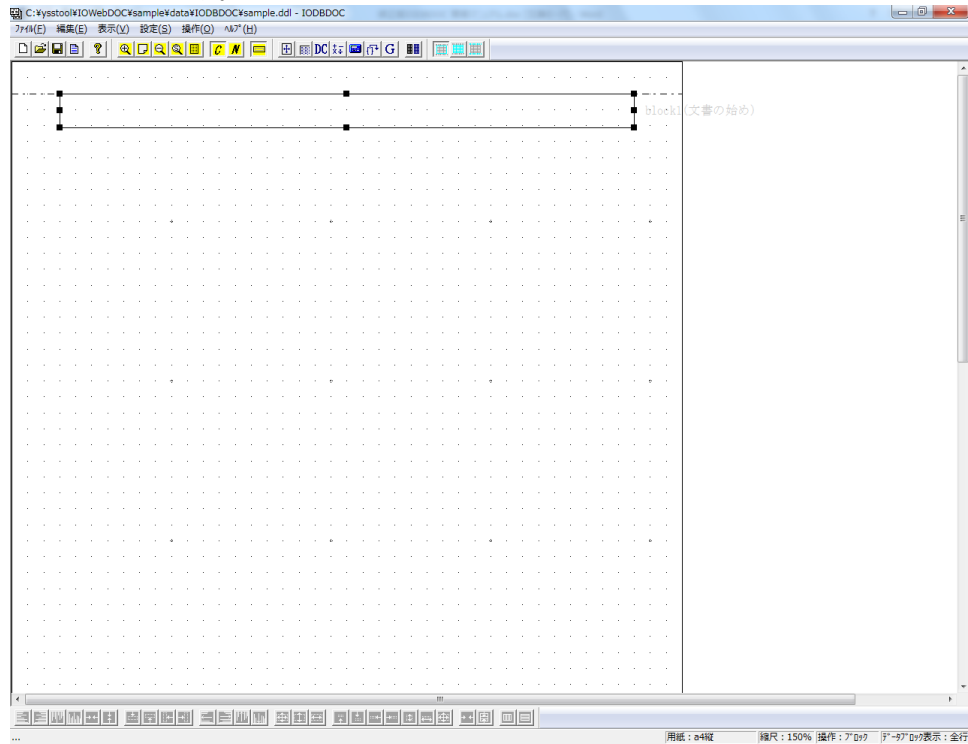
- (3) 上線と下線を動かし、データエリアを設定してください。

サンプル帳票は下記の大きさで作成します。

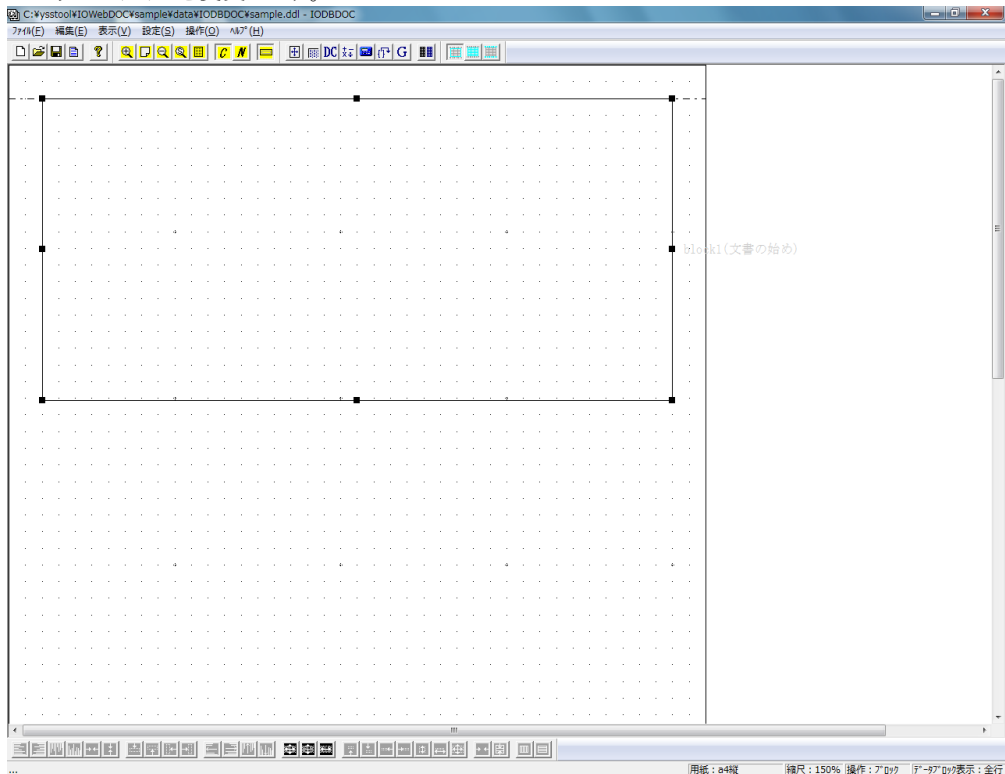


5.1.2. 文書の始めブロックの追加

- (1) ブロックを追加します。



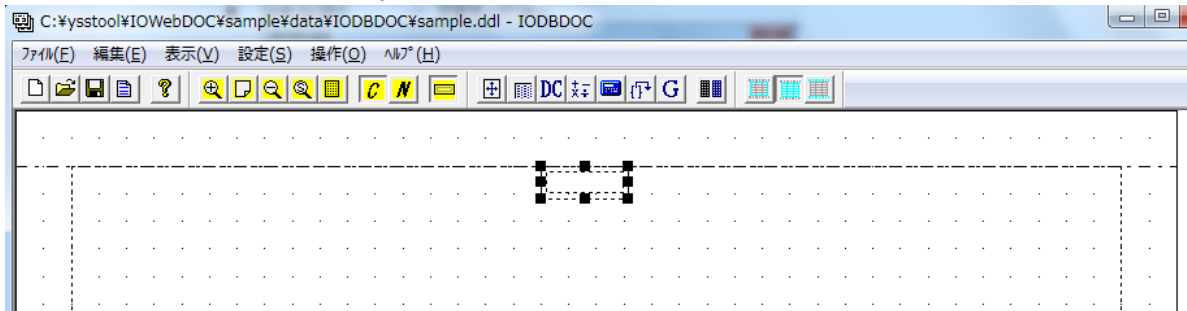
- (2) ブロックのサイズを変更します。



- (3) [ブロック属性編集]画面にて、[ブロック罫線/背景]タブの「描画設定」で上下左右の罫線を非表示にしてください。

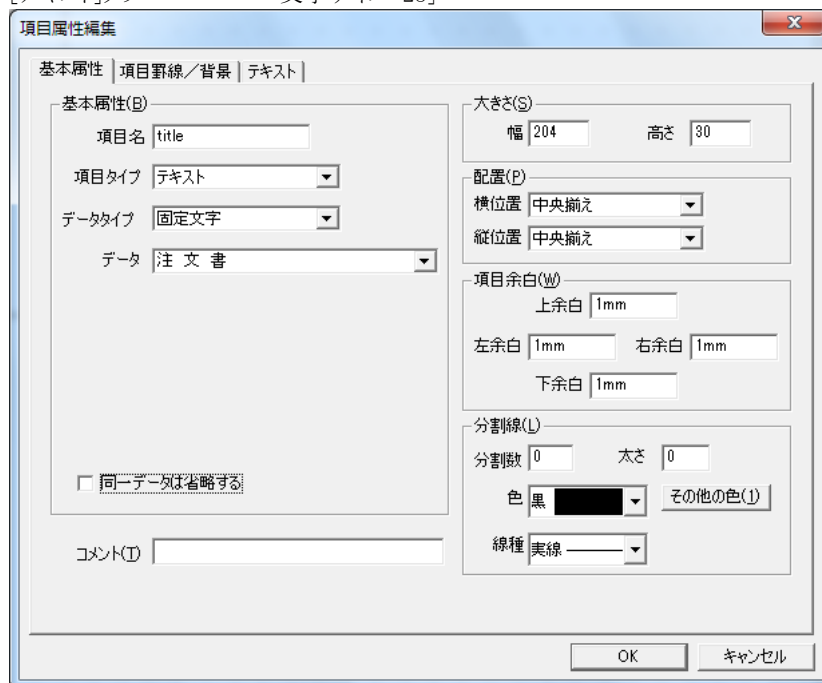
5.1.3. タイトルの追加

- (1) ブロックの真ん中に項目を追加します。



- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「title」、データ → 「注 文 書」、大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 文字サイズ「28」



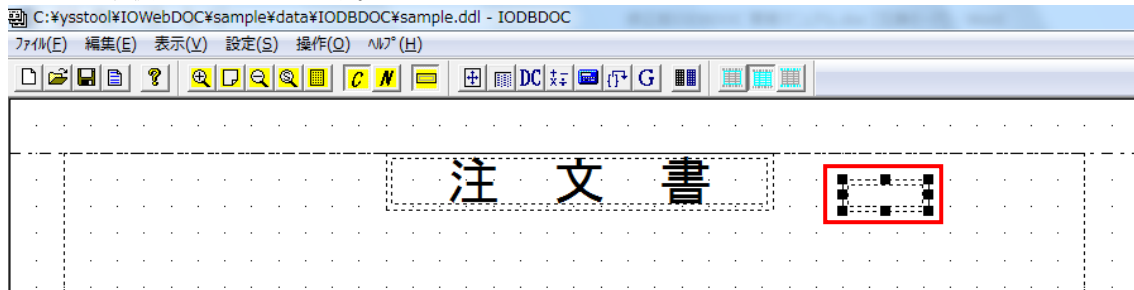
- (3) 項目をブロックの中央に移動してください。



5.1.4. ページ項目の追加

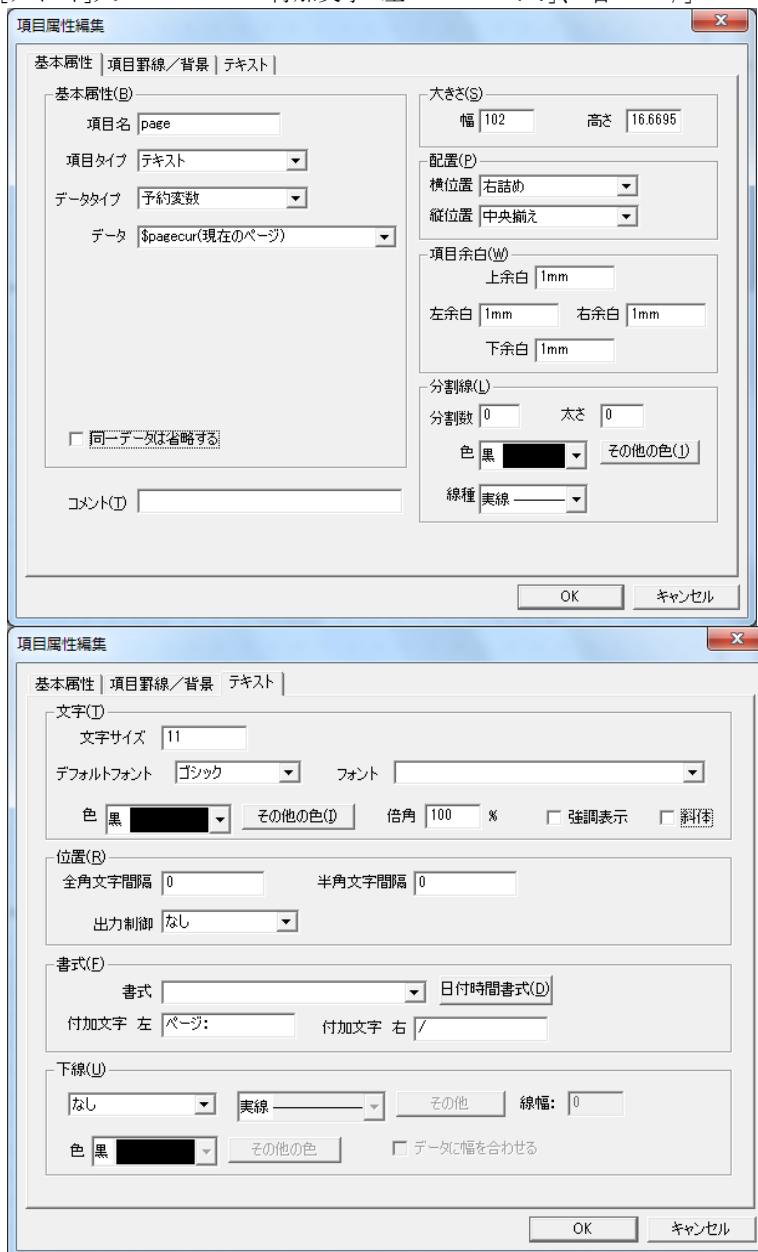
ブロックの右上にページ番号、総ページ数を表示します。

- (1) タイトルの右横に項目を追加します。

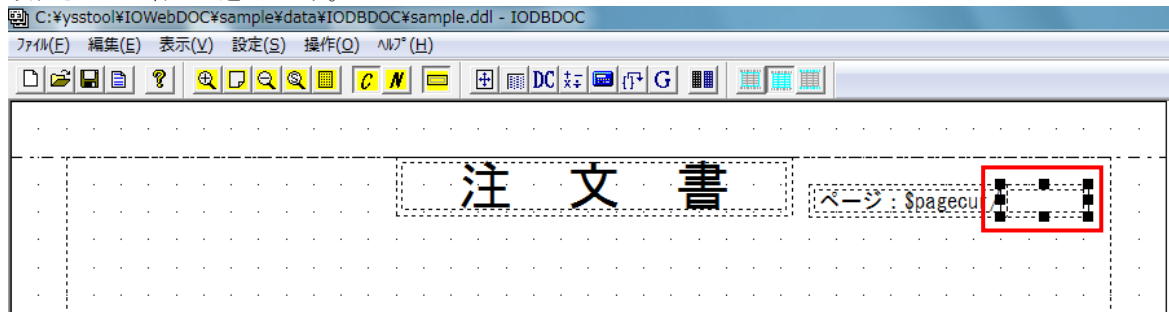


- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「page」、データタイプ → 「予約変数」、データ → 「\$pagecur/(現在のページ)」
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 付加文字 左 → 「ページ:」、右 → 「/」

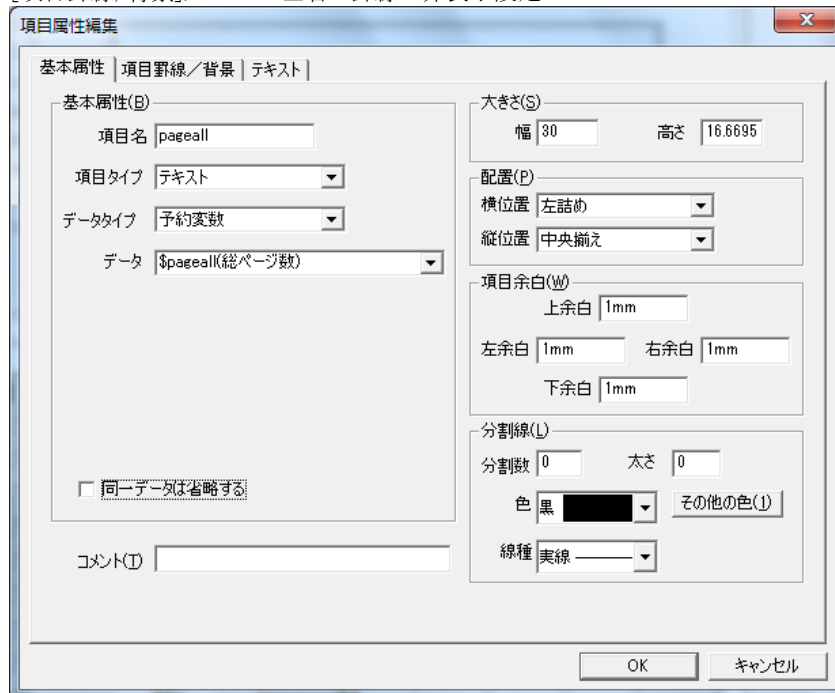


- (3) ページ番号を作成後、右隣に総ページ数を作成します。
項目をページ右上に追加します。

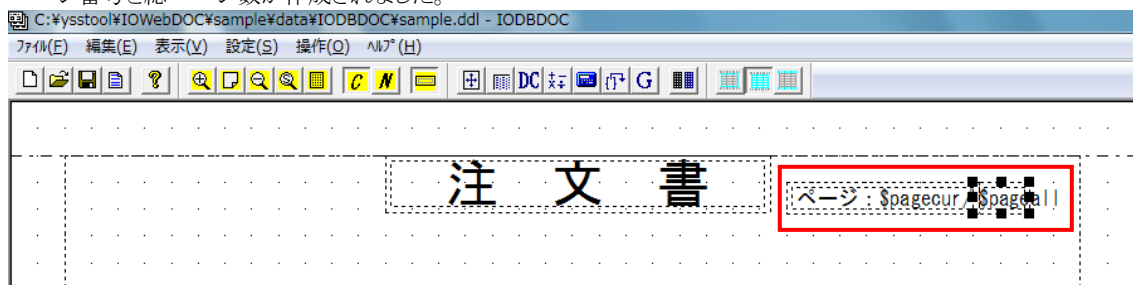


- (4) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「pageall」、データタイプ → 「予約変数」、データ → 「\$pageall/(総ページ数)」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定

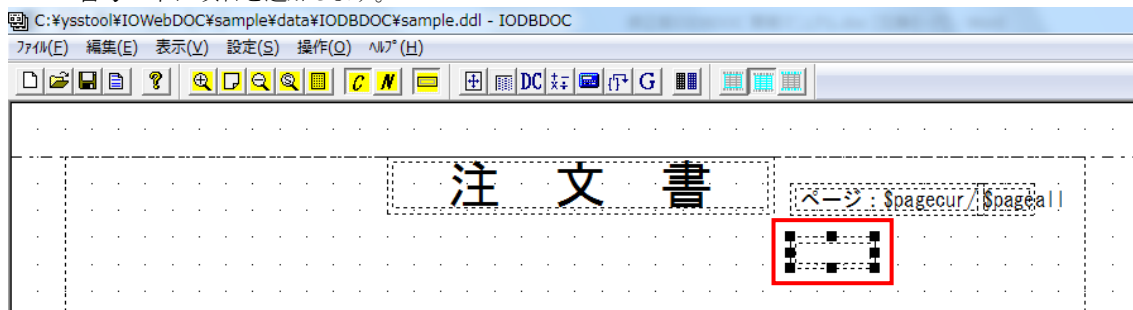


- (5) ページ番号と総ページ数が作成されました。



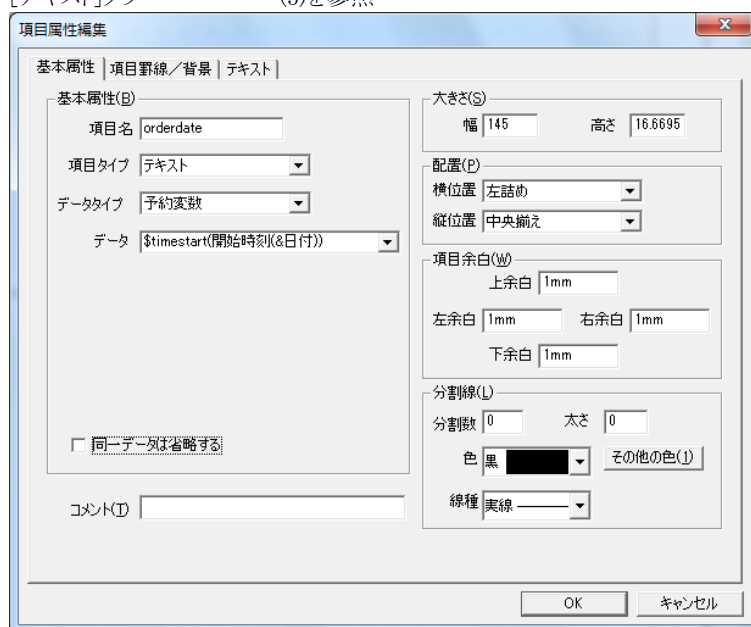
5.1.5. 注文日付の追加

- (1) ページ番号の下に項目を追加します。

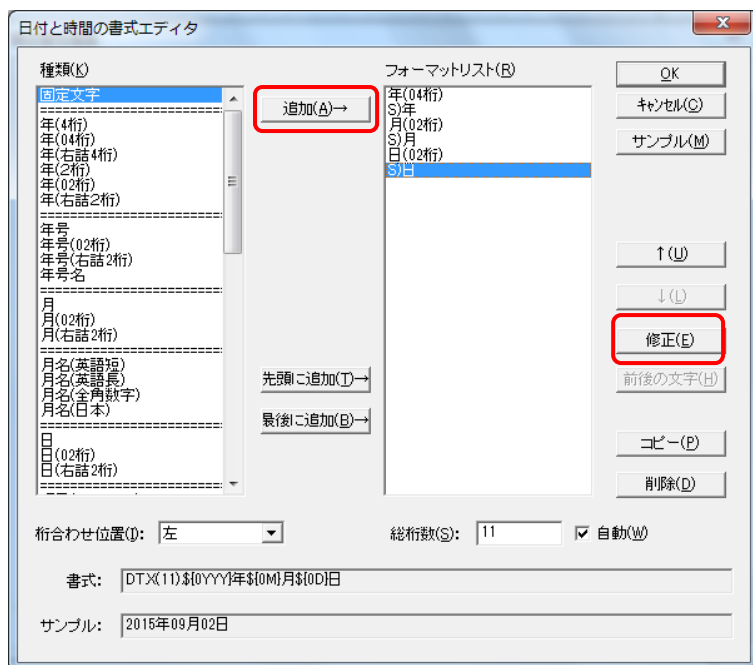


- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「orderdate」、データタイプ → 「予約変数」、データ → 「\$timestart/(開始時刻(&日付))」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … (3)を参照

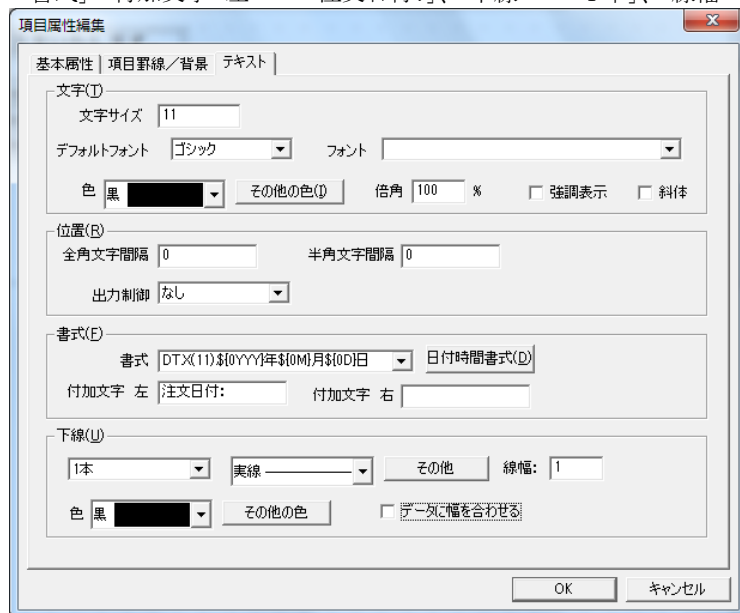


- (3) [テキスト]タブの「書式」-「日付時間書式」をクリックします。「2015 年 01 月 01 日」こちらの書式を作成します。種類より、「年(04 桁)」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。フォーマットリストに登録されます。次に、種類より、「固定文字」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。その後、「修正」ボタンをクリックし、「年」と入力します。同じように「月(02 桁)」、「日(02 桁)」を作成してください。「OK」ボタンをクリックしてください。

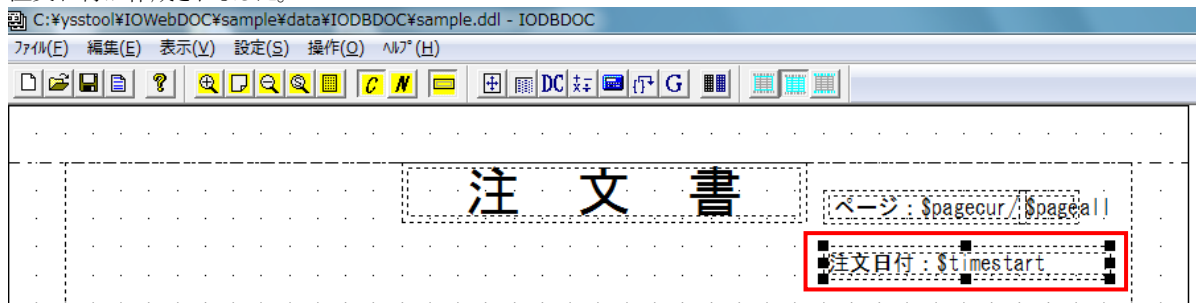


- (4) [項目属性編集]画面にて、[テキスト]タブの「書式」欄に作成した日付書式が入力されていることを確認します。
項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 「書式」—付加文字 左 → 「注文日付:」、下線 → 「1本」、線幅 → 「1」



- (5) 注文日付が作成されました。



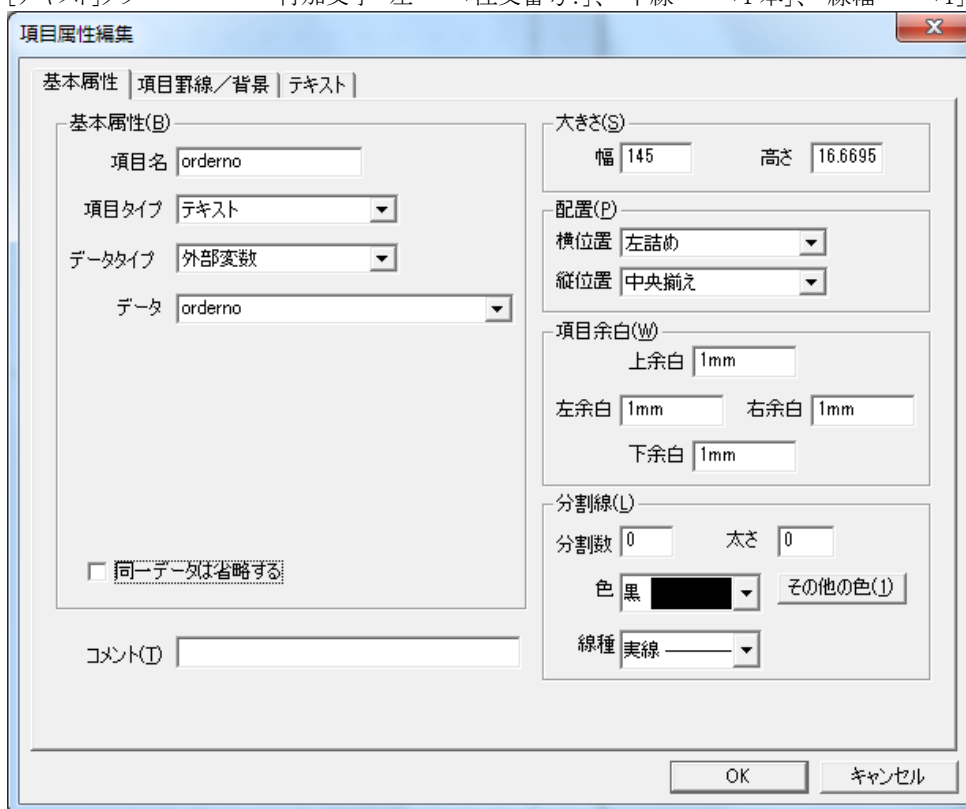
5.1.6. 注文番号の追加

- (1) 注文日付の下に項目を追加します。



- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「orderno」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「\$orderno」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 付加文字 左 → 「注文番号:」、下線 → 「1本」、線幅 → 「1」



- (3) 注文番号が作成されました。



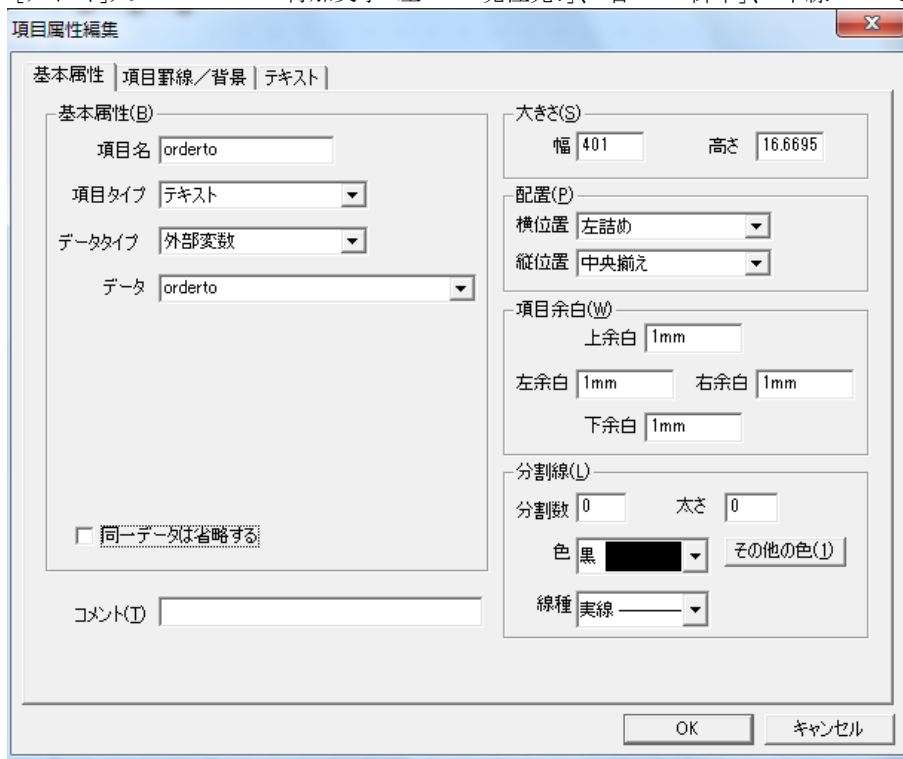
5.1.7. 発注先の追加

- (1) ページ左側に項目を追加します。

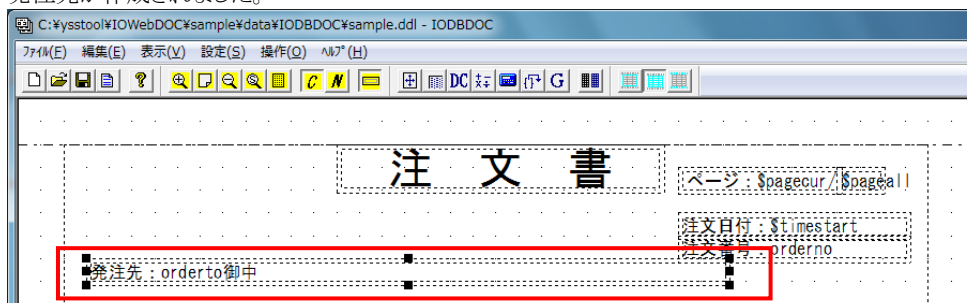


- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「orderto」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「\$orderto」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 付加文字 左 → 「発注先:」、右 → 「御中」、下線 → 「1本」、線幅 → 「1」

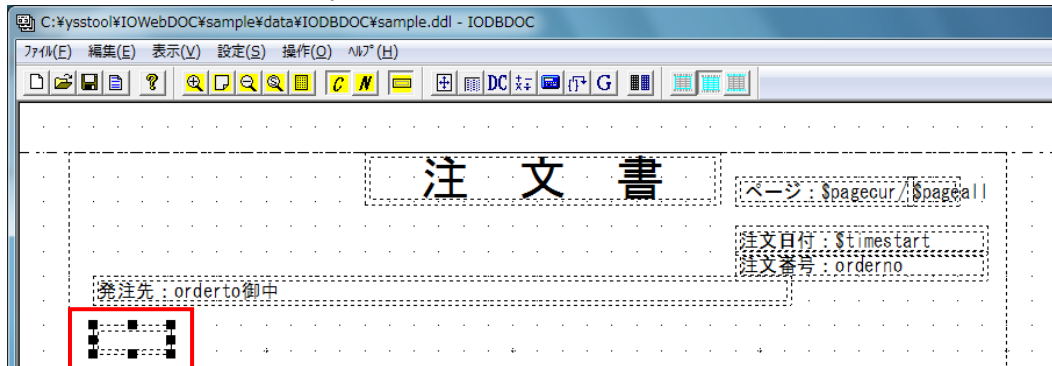


- (3) 発注先が作成されました。



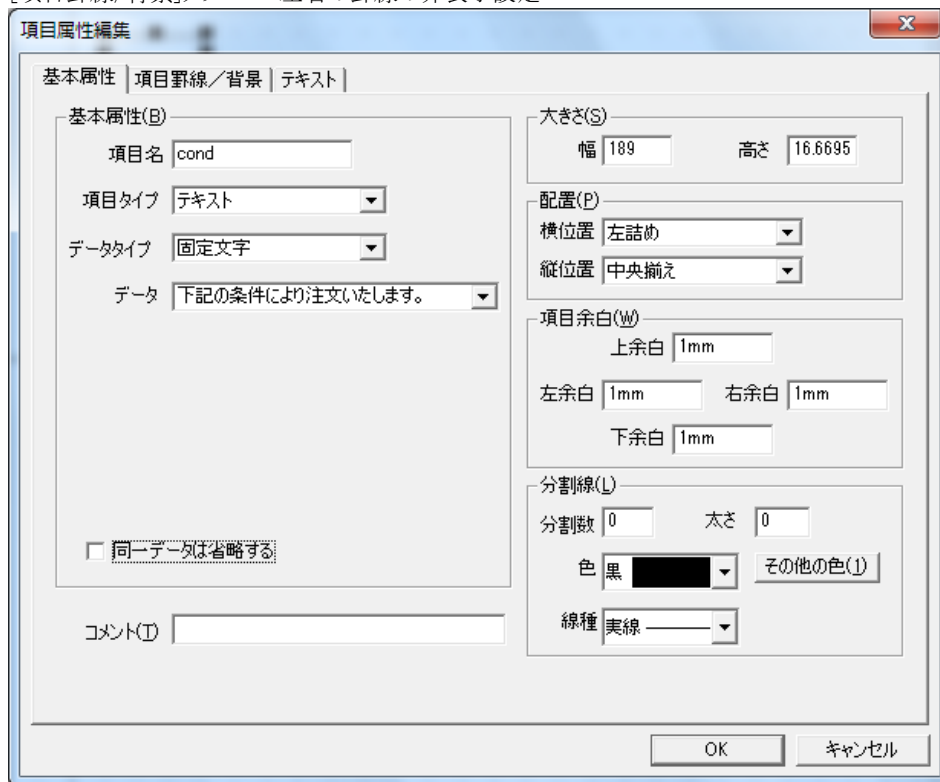
5.1.8. 条件文(固定文字列)の追加

- (1) 発注先の下に項目を追加します。

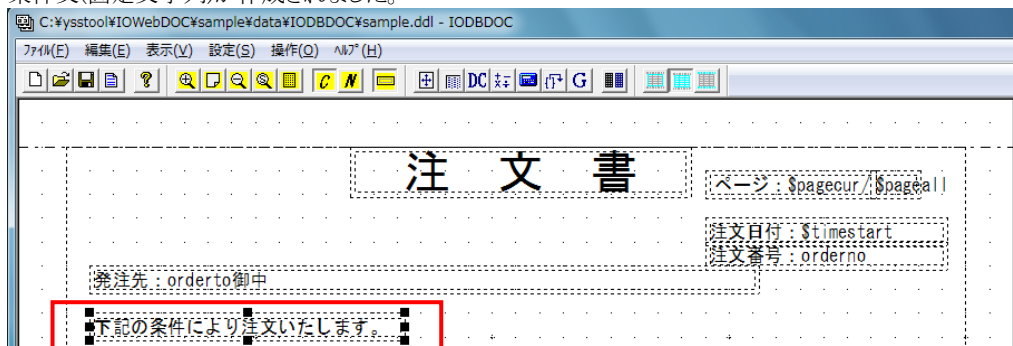


- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「cond」、データ → 「下記の条件により注文いたします。」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定



- (3) 条件文(固定文字列)が作成されました。



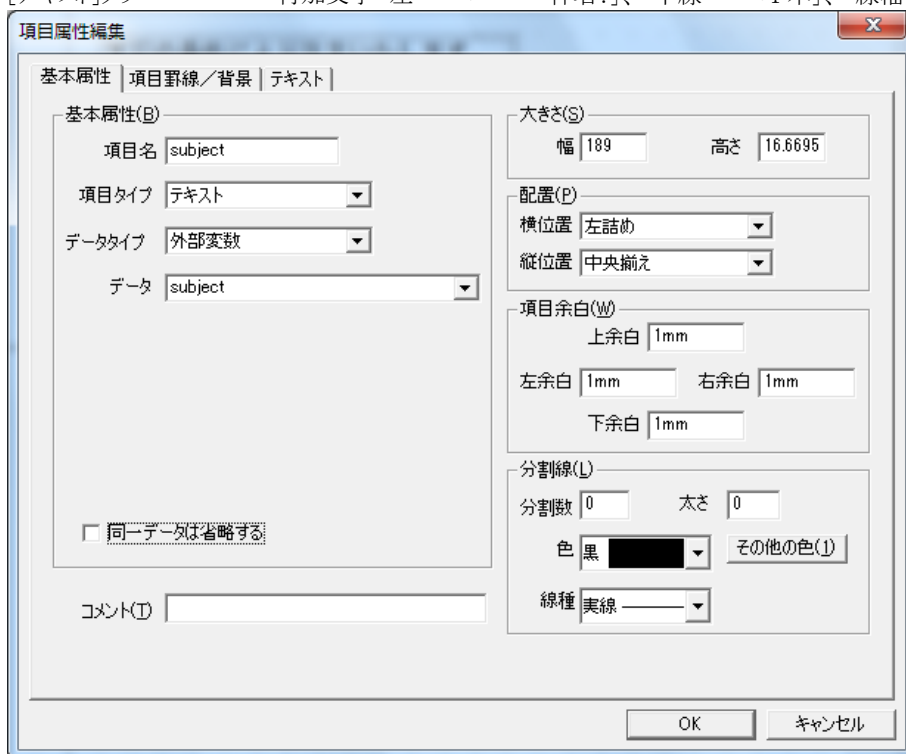
5.1.9. 件名の追加

- (1) 条件文(固定文字列)の下に項目を追加します。

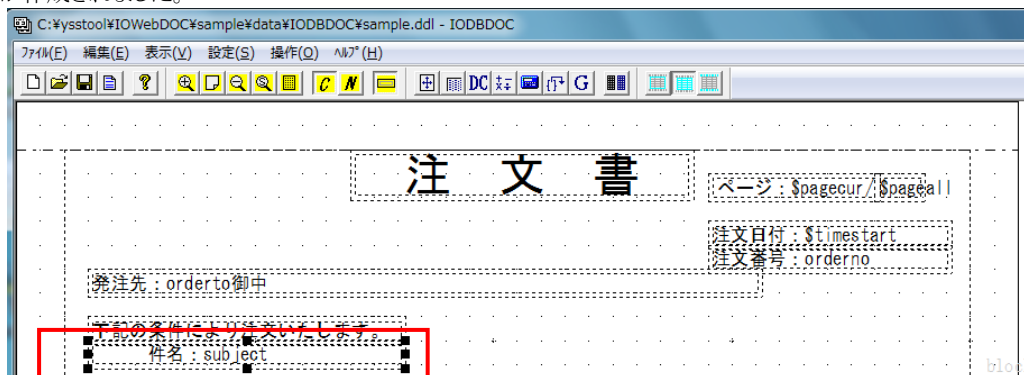


- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ ... 項目名 → 「subject」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「subject」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ ... 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ ... 付加文字 左 → 「 件名:」、下線 → 「1本」、線幅 → 「1」

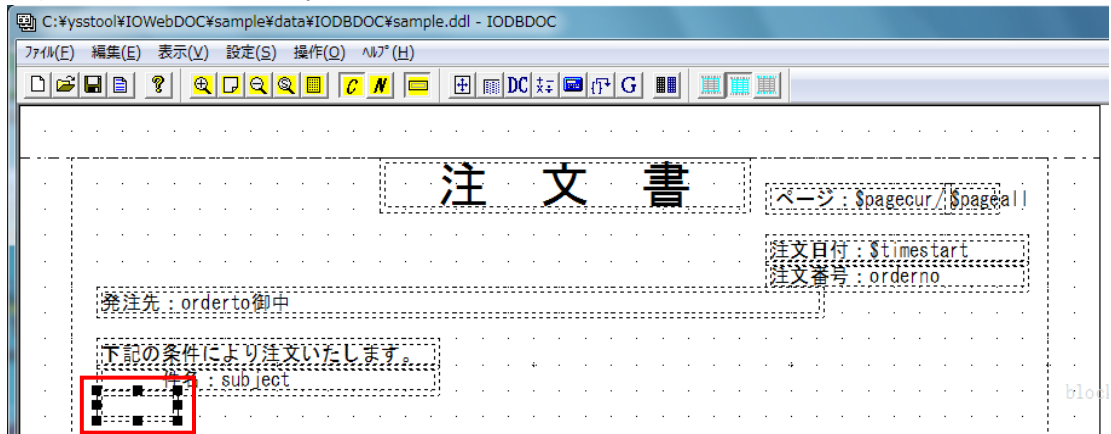


- (3) 件名が作成されました。



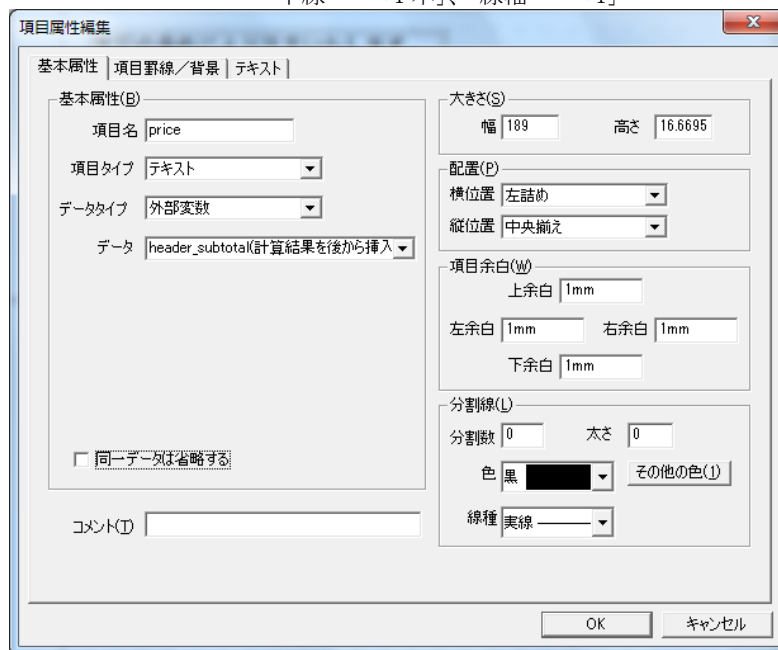
5.1.10. 本体金額の追加

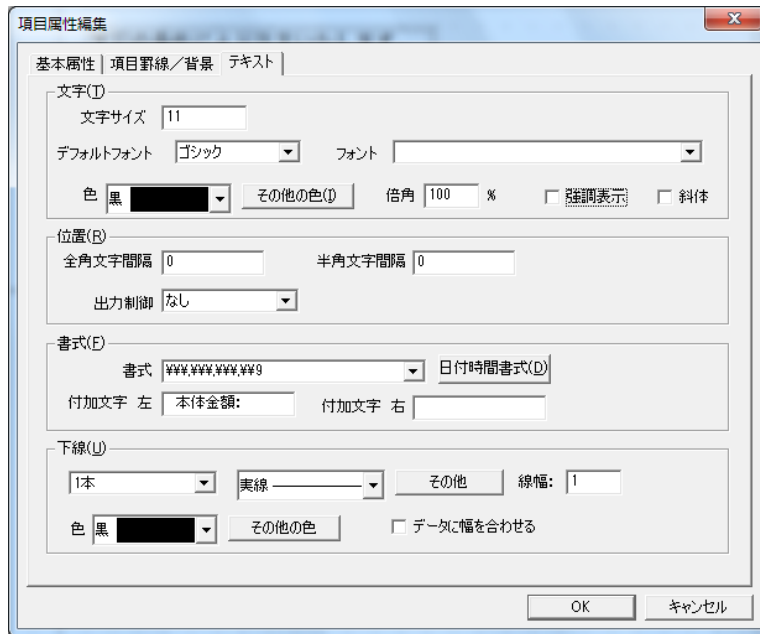
- (1) 件名の下に項目を追加します。



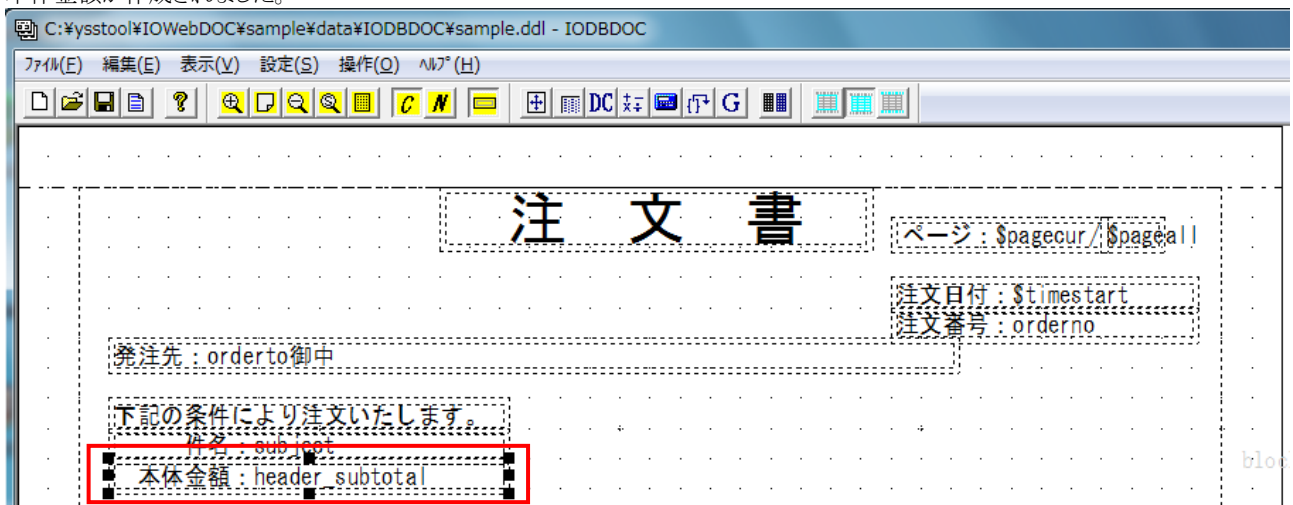
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「price」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「header_subtotal(計算結果を後から挿入)」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 書式 → 「¥¥¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9」、付加文字 左 → 「 本体金額:」、下線 → 「1 本」、線幅 → 「1」



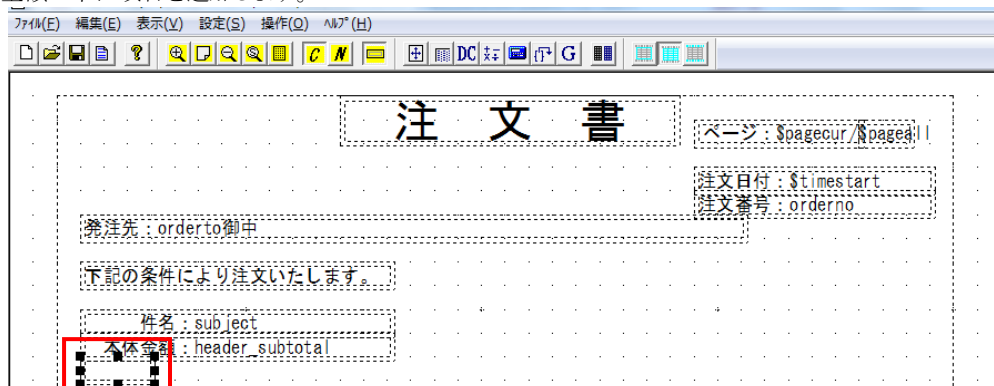


- (3) 本体金額が作成されました。



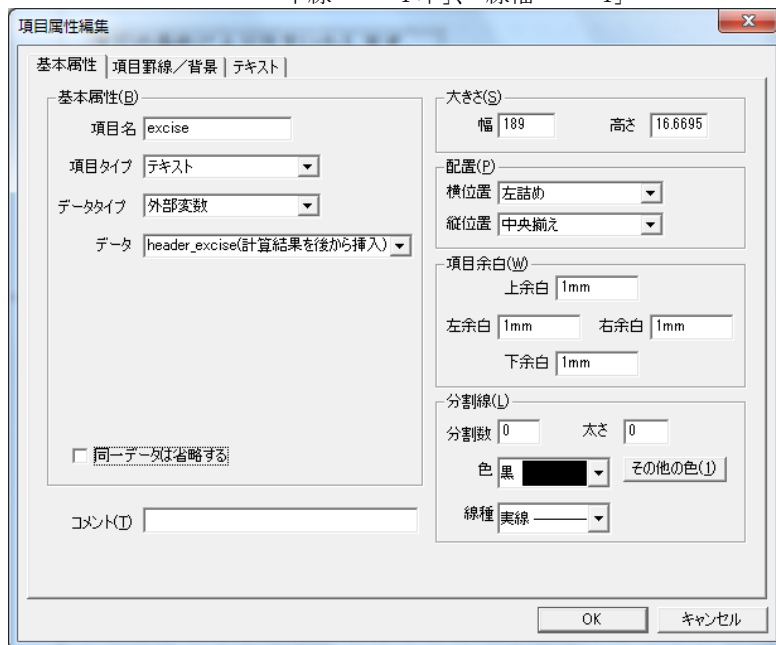
5.1.11. 消費税額の追加

(1) 本体金額の下に項目を追加します。

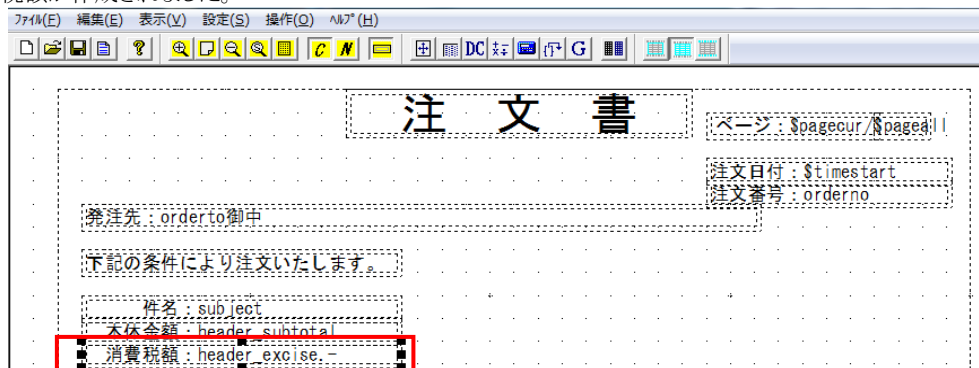


(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「excise」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「header_excise(計算結果を後から挿入)」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 書式 → 「¥¥¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9」、付加文字 左 → 「消費税額:」、右 → 「.-」
下線 → 「1本」、線幅 → 「1」



(3) 消費税額が作成されました。



5.1.12. 合計金額の追加

- (1) 消費税額の下に項目を追加します。

- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「total」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「header_total(計算結果を後から挿入)」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 書式 → 「¥¥¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9」、付加文字 左 → 「合計金額:」、右 → 「.-」
下線 → 「1 本」、線幅 → 「1」

- (3) 合計金額が作成されました。

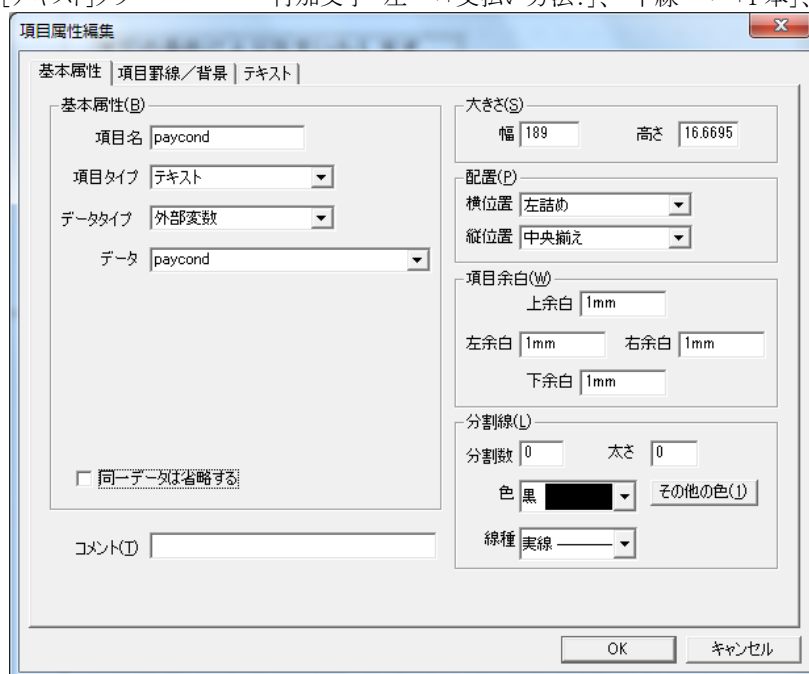
5.1.13. 支払い方法の追加

- (1) 合計金額の下に項目を追加します。

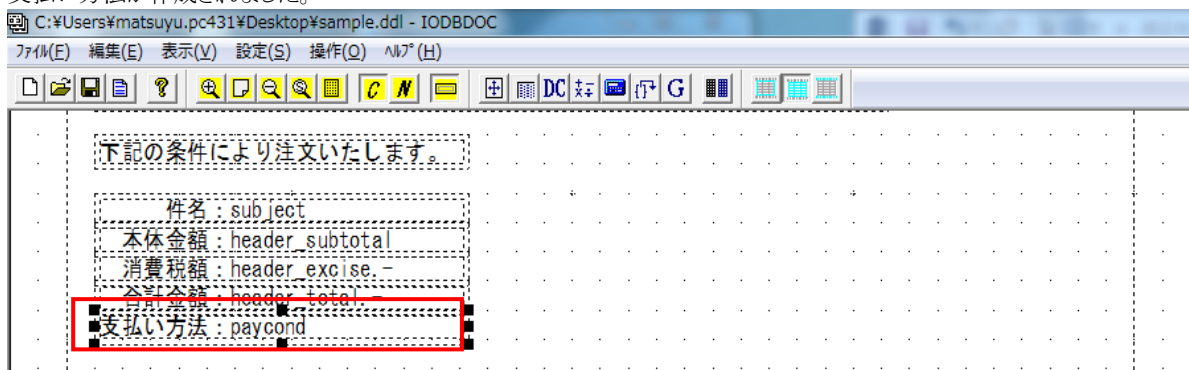


- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「paycond」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「paycond」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 付加文字 左 → 「支払い方法:」、下線 → 「1本」、線幅 → 「1」

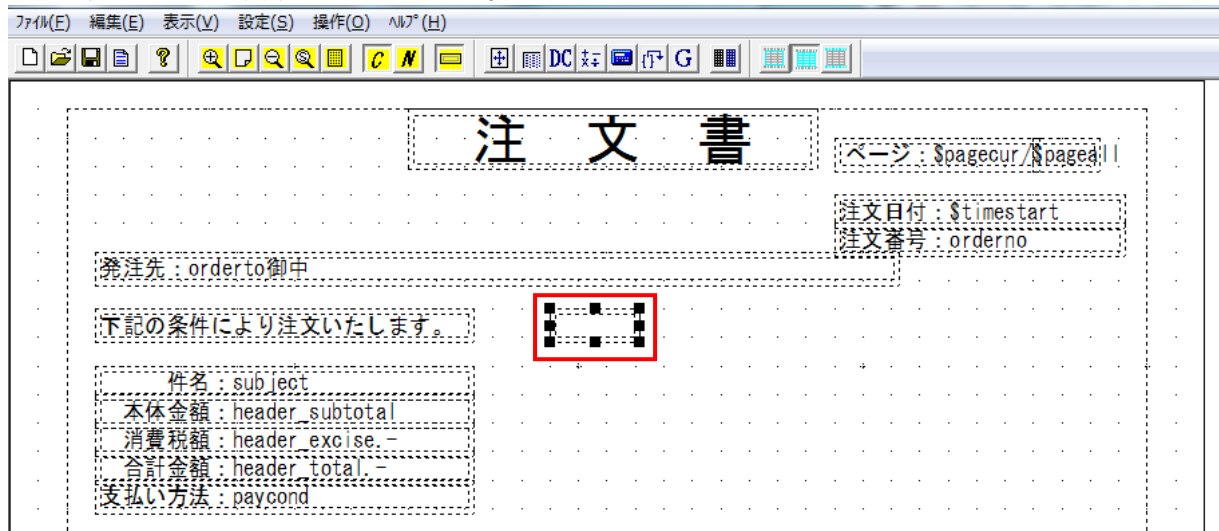


- (3) 支払い方法が作成されました。



5.1.14. 画像領域の追加

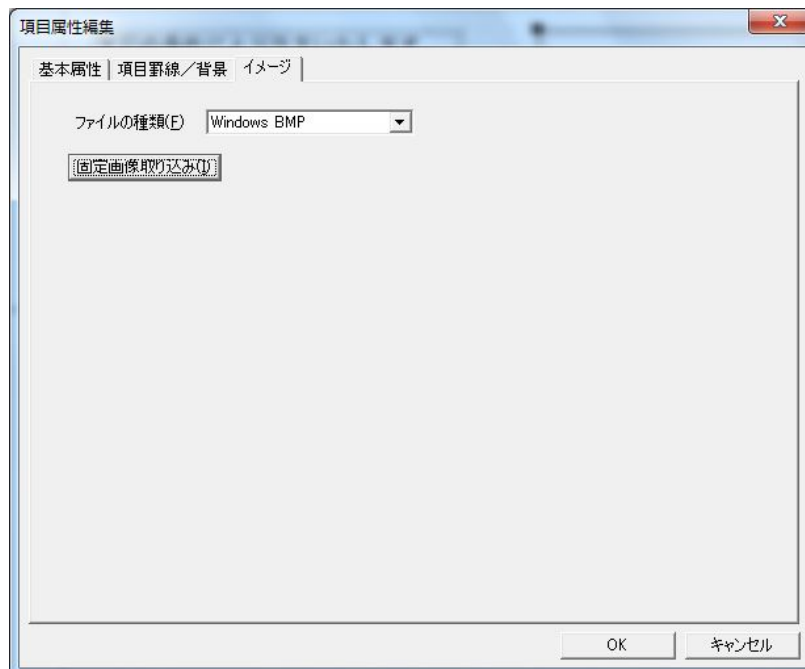
- (1) 条件文(固定文字列)の右隣に項目を追加します。



- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「deliverycolumn」、項目タイプ → 「イメージ」、
大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 上下の罫線の表示設定
- [イメージ]タブ … ファイルの種類 → 「Windows BMP」



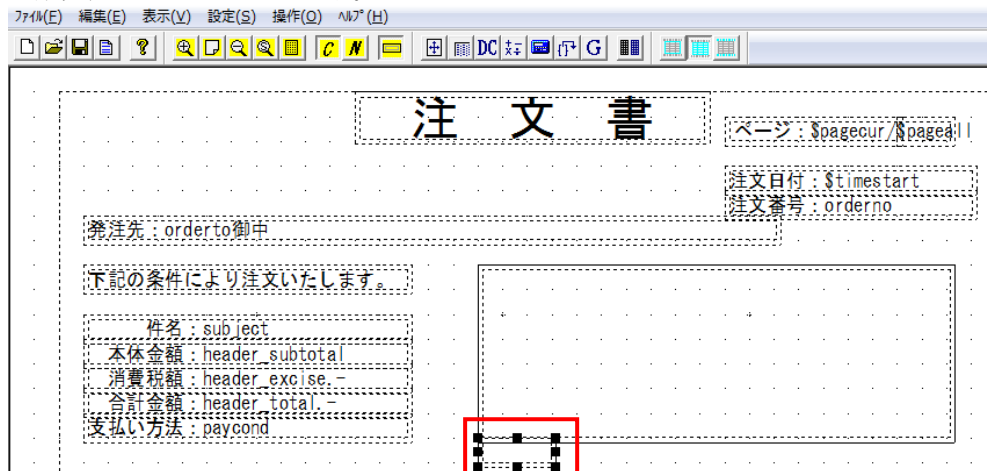


(3) 画像領域が作成されました。



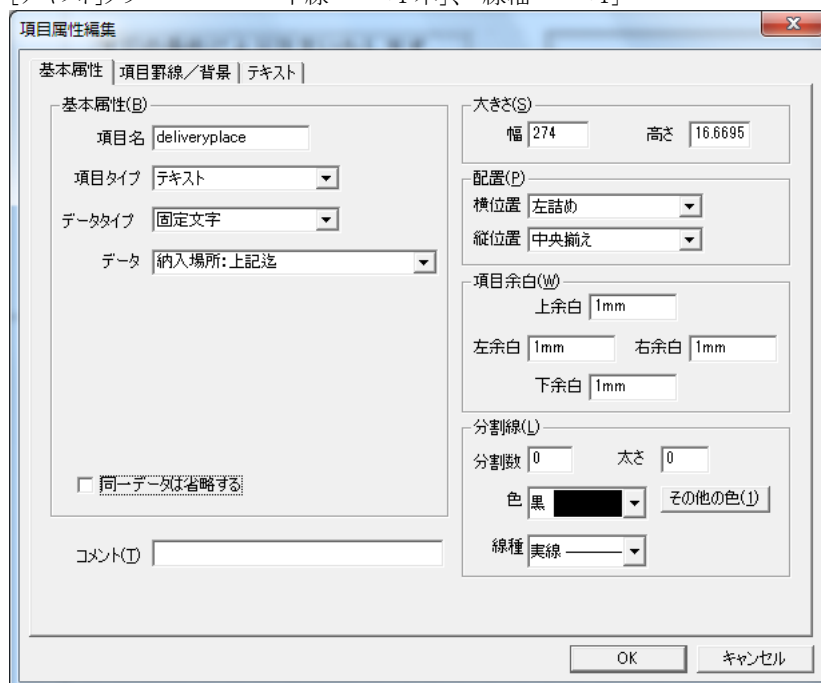
5.1.15. 納入場所の追加

(1) 画像領域の下に項目を追加します。

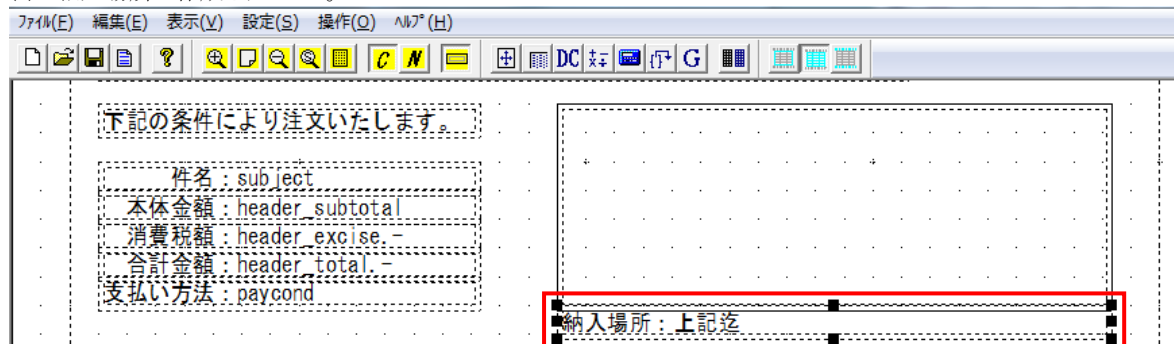


(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「deliveryplace」、データ → 「納入場所:上記迄」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 下線 → 「1本」、線幅 → 「1」

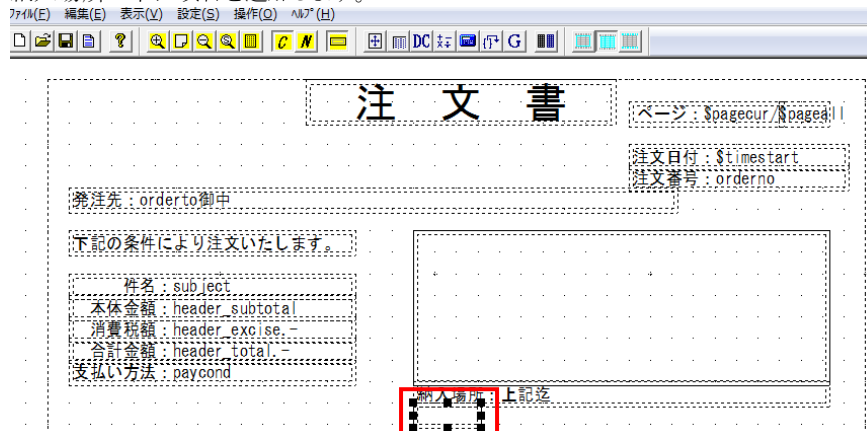


(3) 納入場所が作成されました。



5.1.16. 納期の追加

- (1) 納入場所の下に項目を追加します。

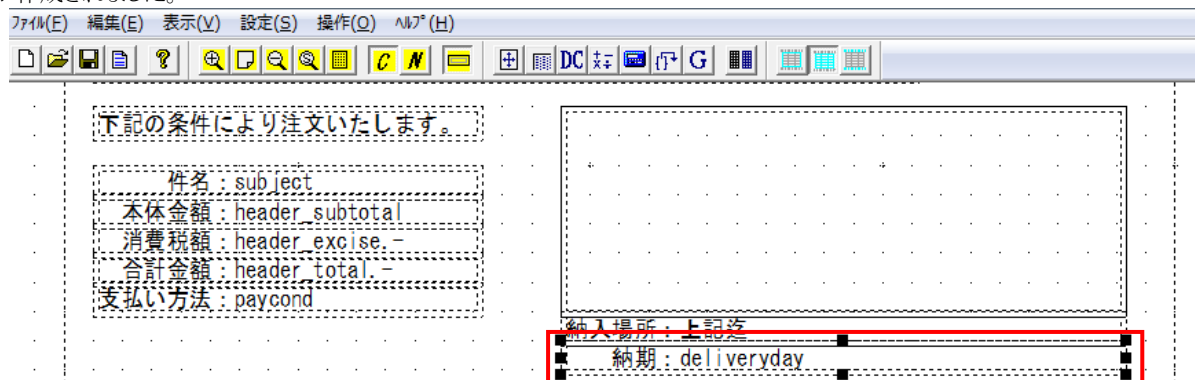


- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「deliveryday」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「deliveryday」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 付加文字 左 → 「納期:」、下線 → 「1本」、線幅 → 「1」



- (3) 納期が作成されました。



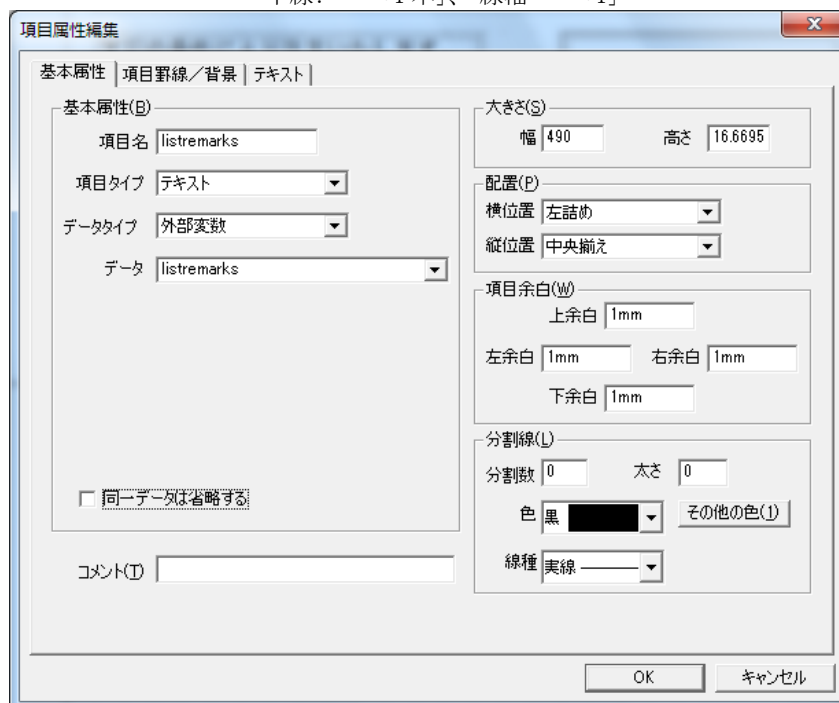
5.1.17. 明細備考の追加

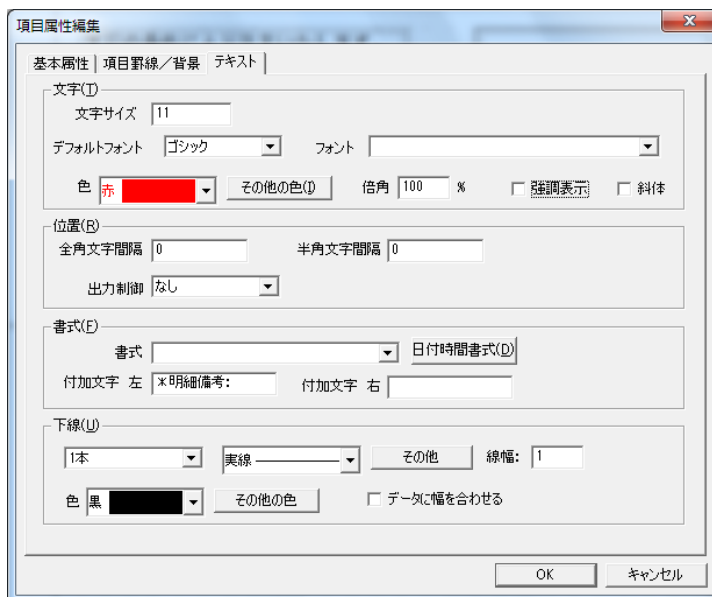
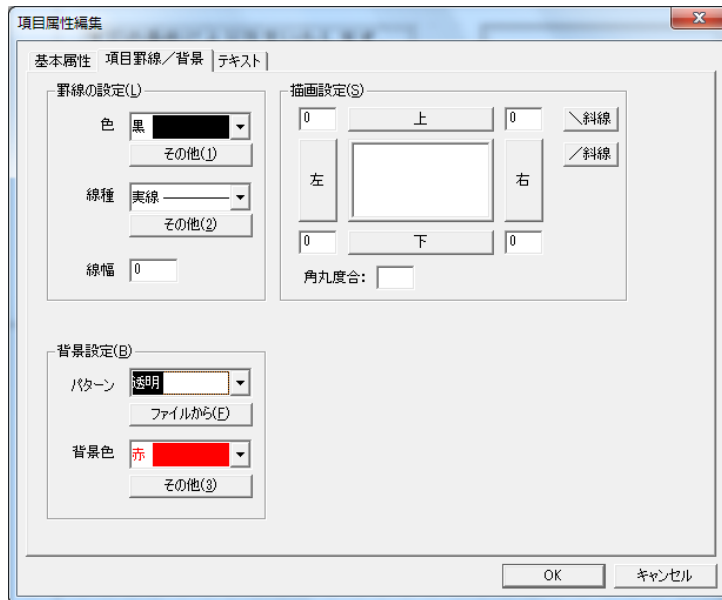
(1) 支払い方法の下に項目を追加します。



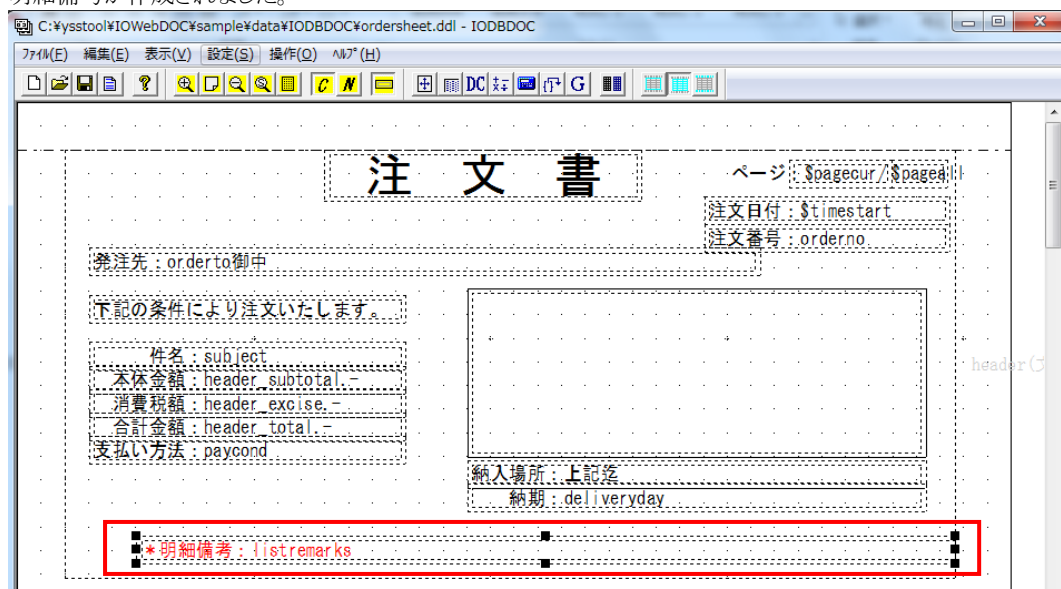
(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「listremarks」、データタイプ → 「外部変数」、データ → 「listremarks」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 背景設定: パターン → 「透明」、背景色 → 「赤」
左右の罫線の非表示設定
- [テキスト]タブ … 文字: 色 → 「赤」、書式: 付加文字 左 → 「*明細備考:」、
下線: → 「1本」、線幅 → 「1」



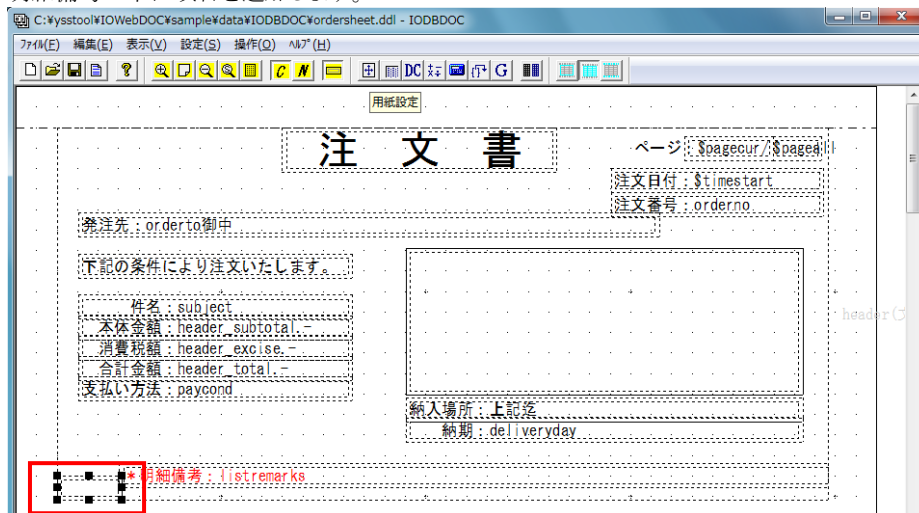


(3) 明細備考が作成されました。



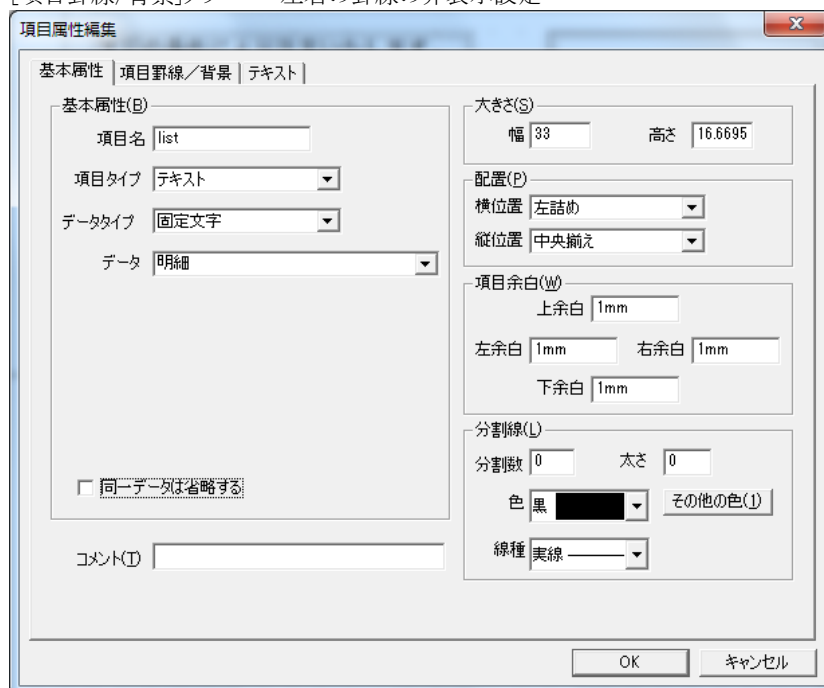
5.1.18. 明細(固定文字列)の追加

(1) 明細備考の下に項目を追加します。

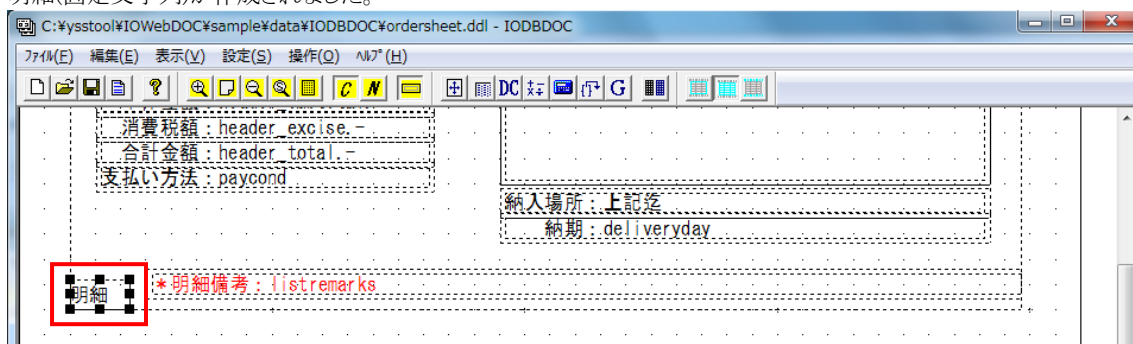


(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「list」、データ → 「明細」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定



(3) 明細(固定文字列)が作成されました。



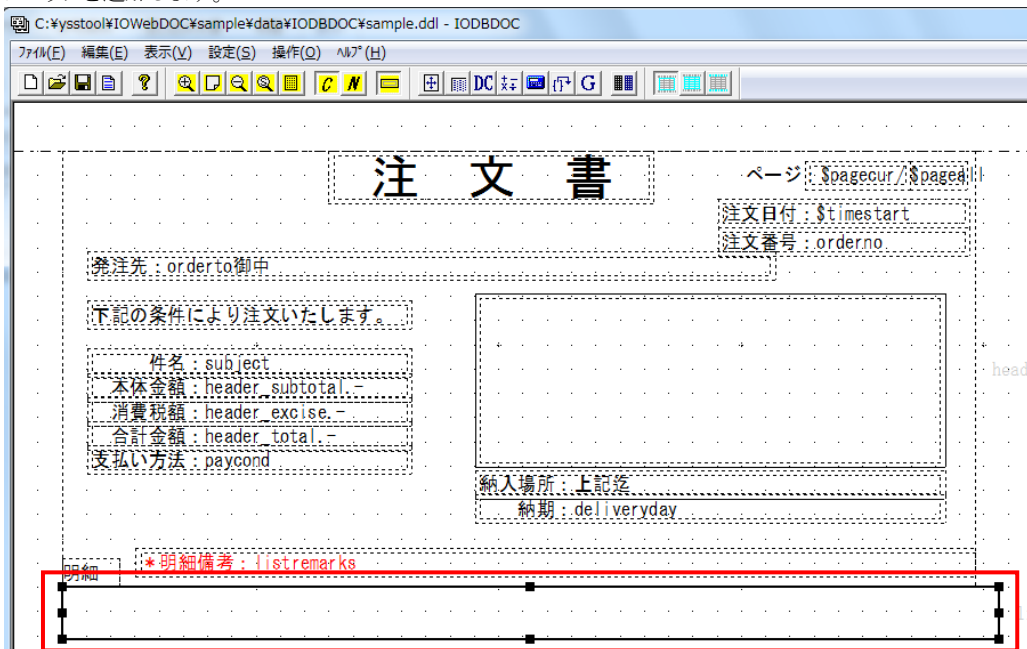
見出しブロックを作成します。

C:\ysstool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\ordersheet.ddl - IOBDOC

Copyright 2000-2015 株式会社ワイ・エス・エス All rights Reserved.
Page.48

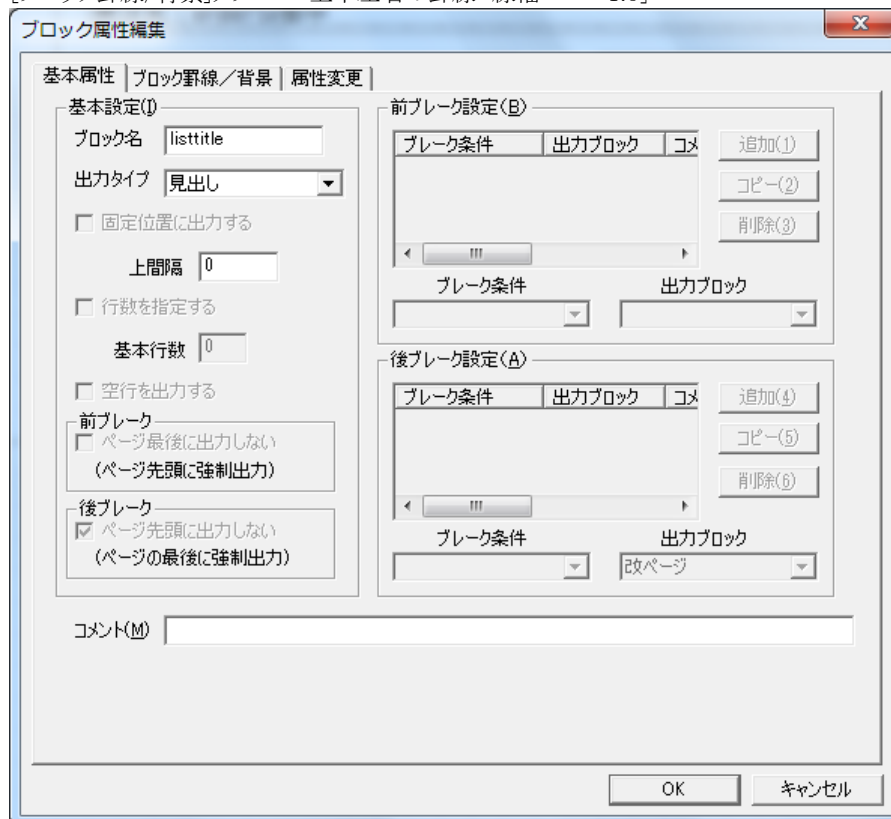
5.2.1. 見出しブロックの追加

(1) ブロックを追加します。



(2) [ブロック属性編集]画面にて、ブロック属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … ブロック名 → 「listtitle」、出力タイプ → 「見出し」
- [ブロック罫線/背景]タブ … 上下左右の罫線 線幅 → 「1.5」



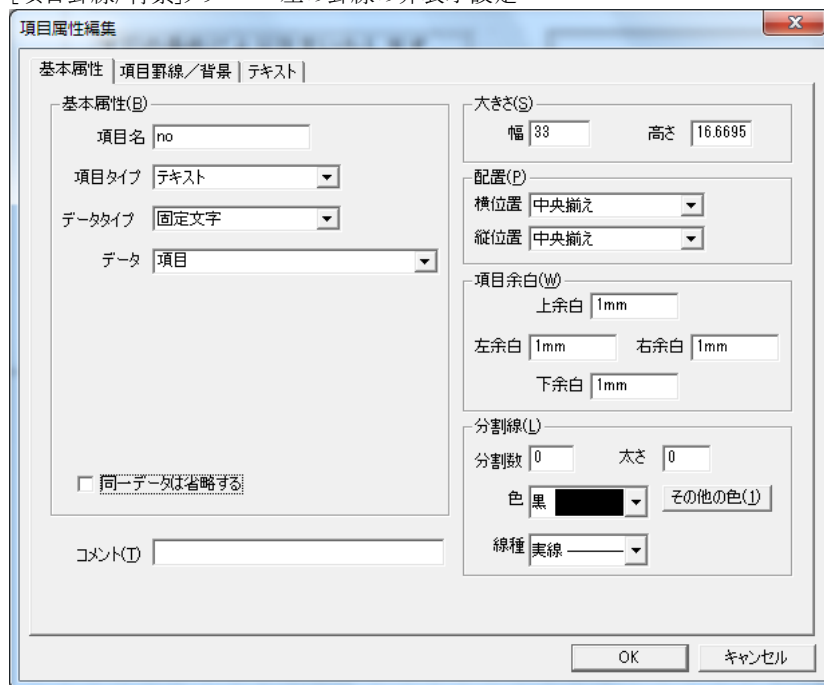
5.2.2. 項目(固定文字列)の追加

(1) 見出しブロックの左端に項目を追加します。

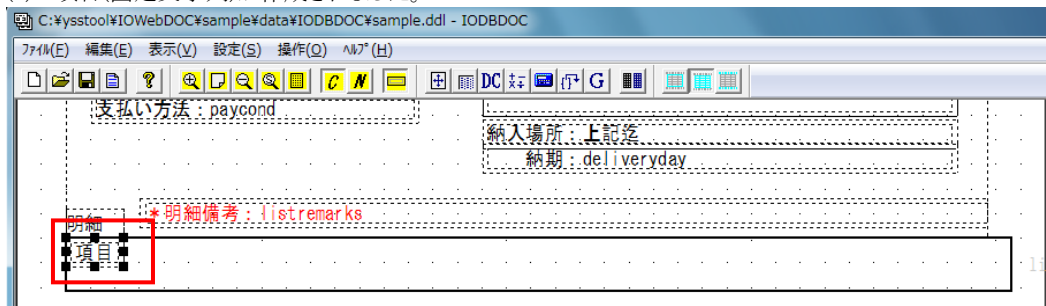


(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「no」、データ → 「項目」、大きさの変更、配置の変更
- [項目野線/背景]タブ … 左の野線の非表示設定

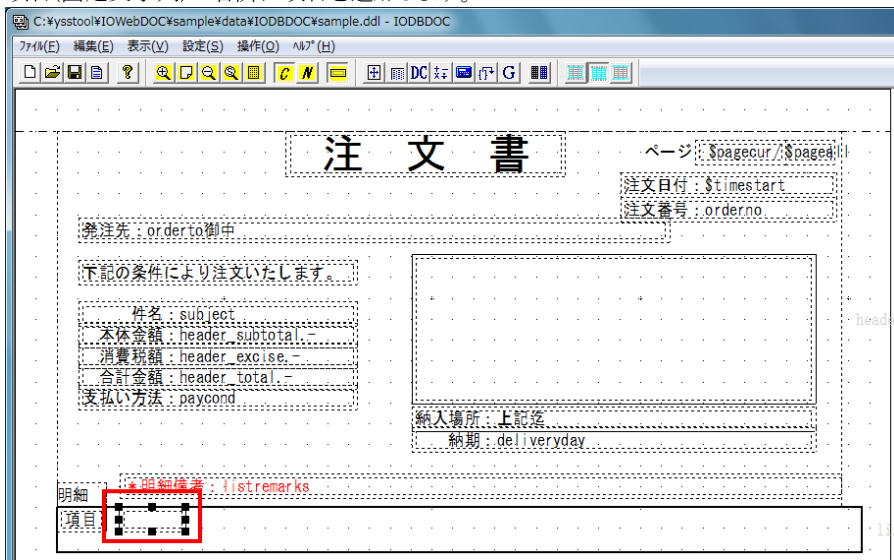


(3) 項目(固定文字列)が作成されました。



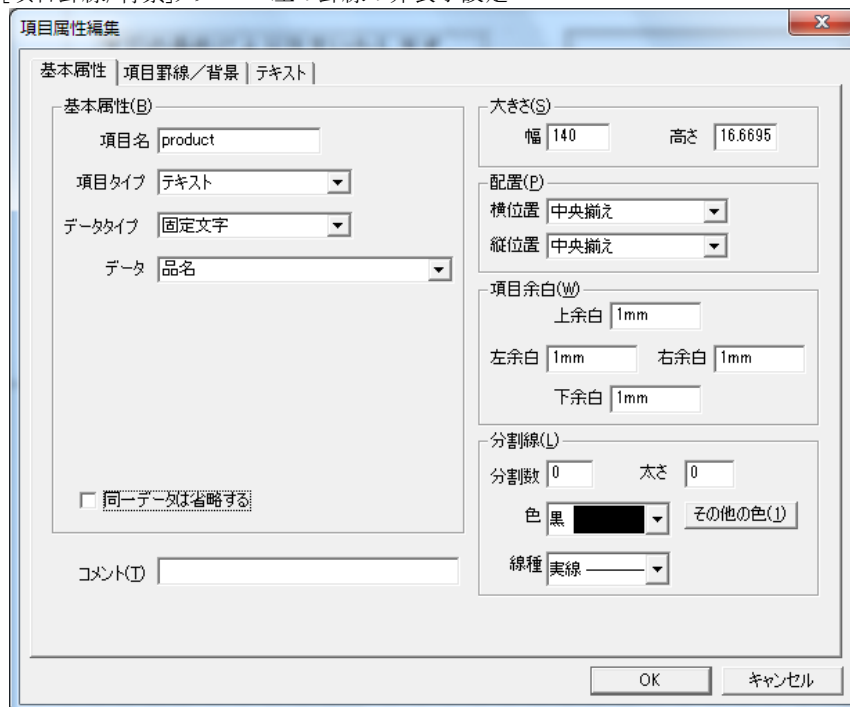
5.2.3. 品名の追加

- (1) 項目(固定文字列)の右隣に項目を追加します。



- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「no」、データ → 「品名」、大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定



(3) 連結機能を使用して、選択した項目(A)に選択した項目(B)を連結させます。

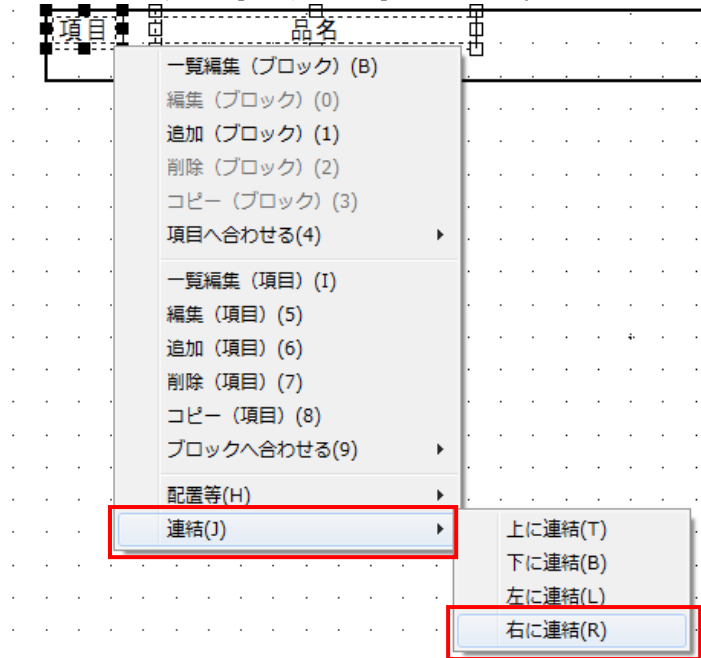
今回は、項目(A)「項目」に項目(B)「品名」を連結させます。

連結したい項目をクリックします。

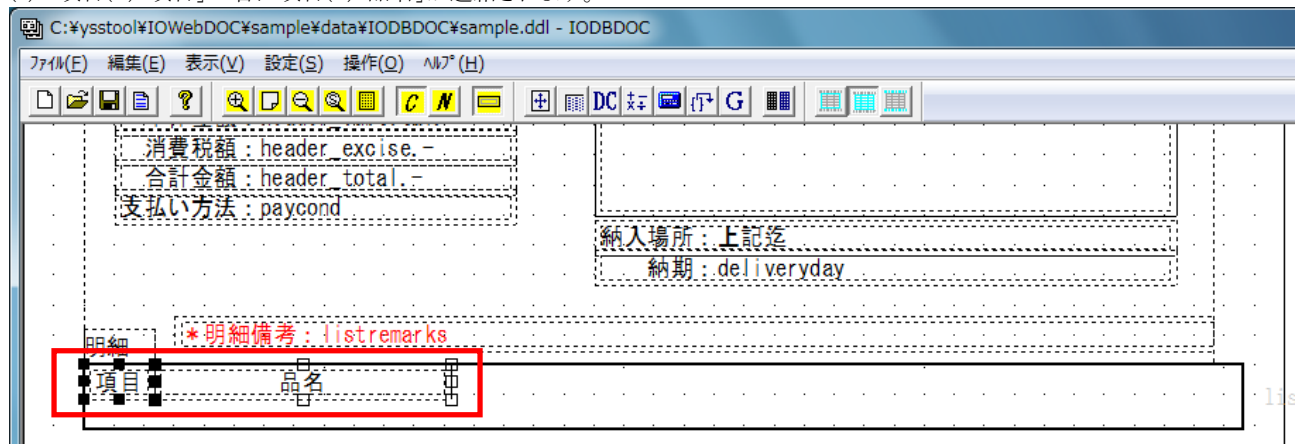
主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。

選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。

メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。



(4) 項目(A)「項目」の右に項目(B)「品名」が連結されます。



5.2.4. 数量の追加

(1) 品名の右隣に項目を追加します。

(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「quant」、データ → 「数量」、大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定

(3) 項目(A)「品名」に項目(B)「数量」を連結させます。

主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。

選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。

メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

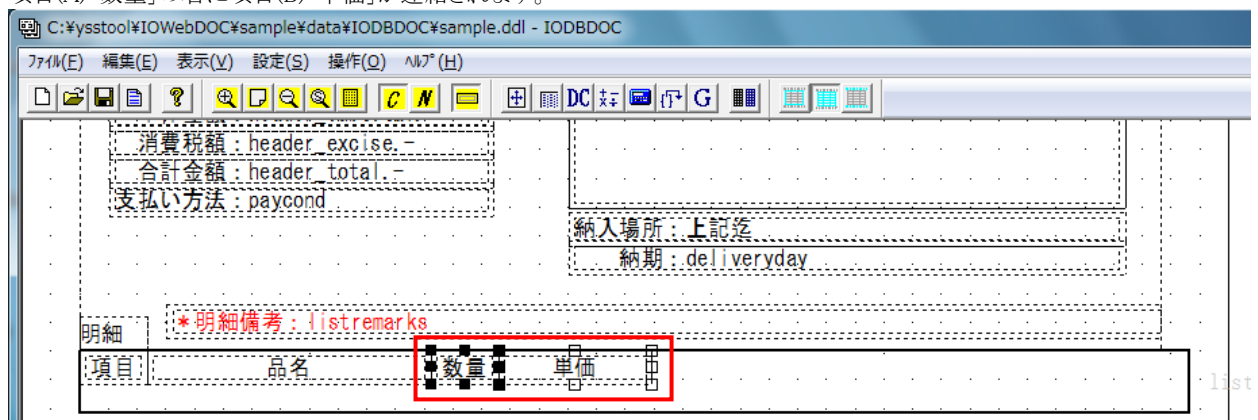
(4) 項目(A)「品名」の右に項目(B)「数量」が連結されます。

5.2.5. 単価の追加

- (1) 数量の右隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「unit」、データ → 「単価」、大きさの変更、配置の変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定

- (3) 項目(A)「数量」に項目(B)「単価」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

- (4) 項目(A)「数量」の右に項目(B)「単価」が連結されます。

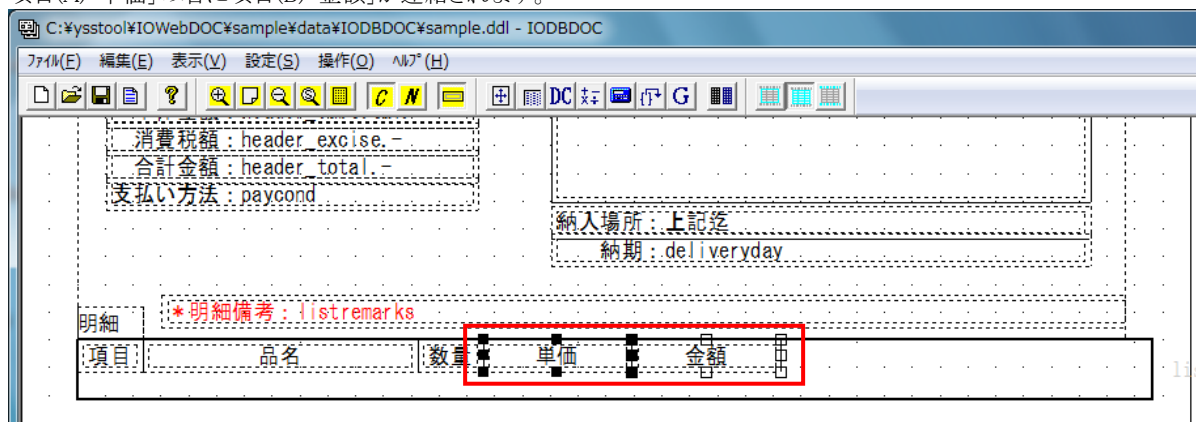


5.2.6. 金額の追加

- (1) 単価の右隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「price」、データ → 「単価」、大きさの変更、配置の変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定

- (3) 項目(A)「単価」に項目(B)「金額」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

- (4) 項目(A)「単価」の右に項目(B)「金額」が連結されます。

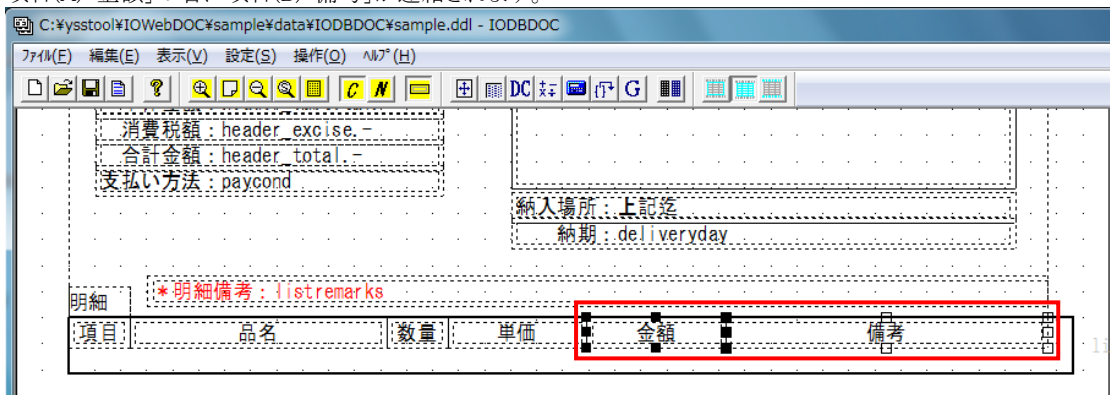


5.2.7. 備考の追加

- (1) 金額の右隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「price」、データ → 「単価」、大きさの変更、配置の変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定

- (3) 項目(A)「金額」に項目(B)「備考」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

- (4) 項目(A)「金額」の右に項目(B)「備考」が連結されます。



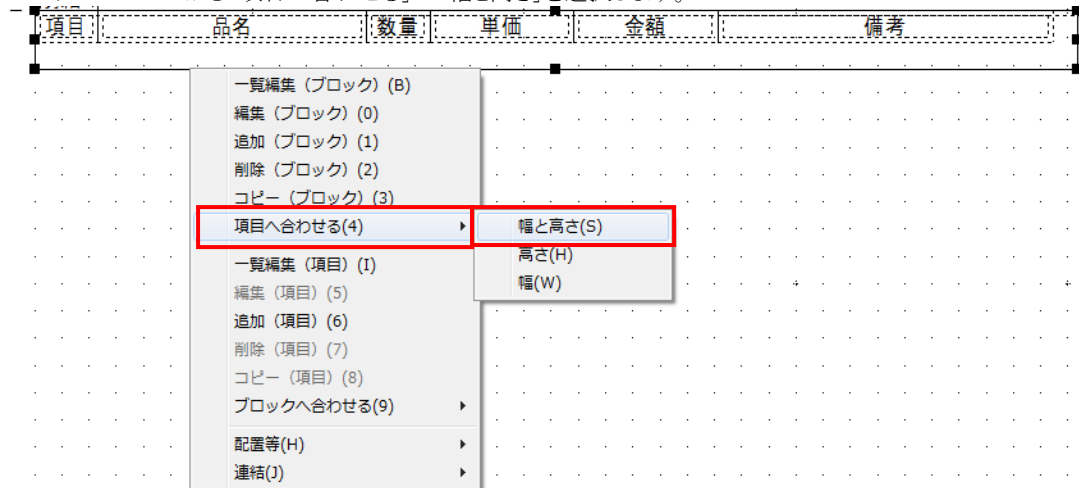
続いて、作成した項目の幅と高さにブロックを合わせます。

(5) ブロック操作モードに変更してください。

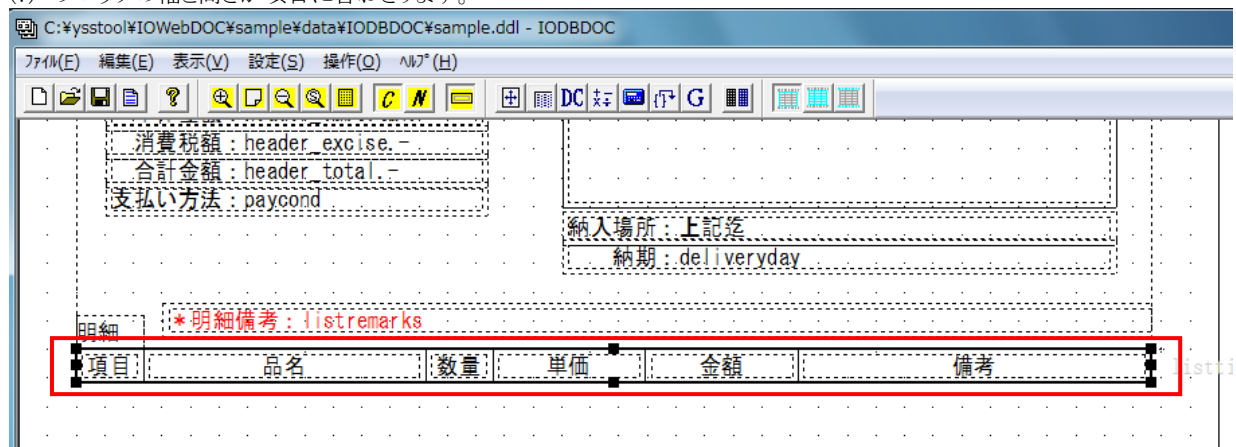
(6) 見出しブロックをクリックします。

見出しブロックを選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックします。

メニューバーから「項目へ合わせる」→「幅と高さ」を選択します。



(7) ブロックの幅と高さが項目に合致します。



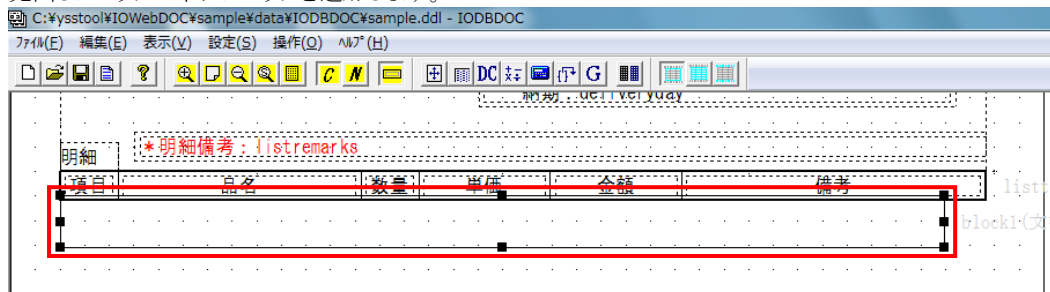
データブロックを作成します。

C:\ysstool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\ordersheet.ddl - IOBDOC

Copyright 2000-2015 株式会社ワイ・エス・エス All rights Reserved.
Page.58

5.3.1. データブロックの追加

- (1) 見出しブロックの下にブロックを追加します。

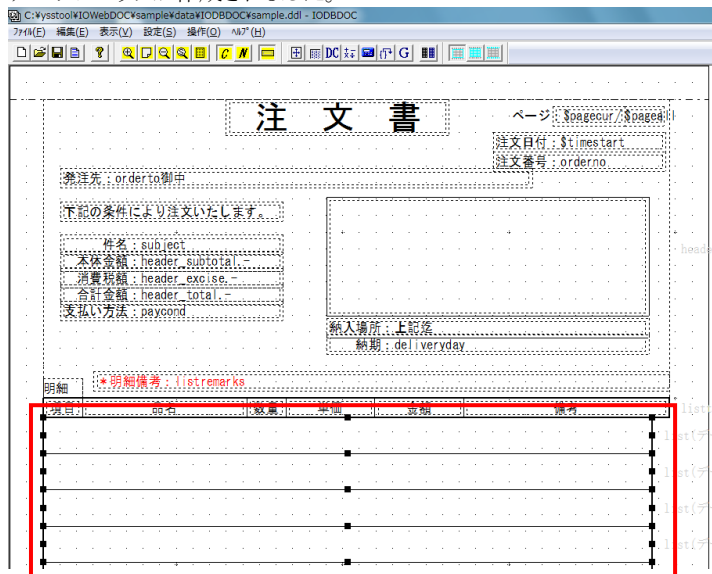


- (2) [ブロック属性編集]画面にて、ブロック属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … ブロック名 → 「list」、出力タイプ → 「データ」、行数を指定する → チェックを外す
- [ブロック罫線/背景]タブ … 外枠上下左右の罫線 線幅 → 「1.5」



- (3) データブロックが作成されました。



5.3.2. 項目の追加

- (1) データブロックの左端に項目を追加します。

The screenshot shows a form titled '注文書' (Order Form) with various fields for customer information, order details, and a table for items. A red box highlights the left margin area of the item table, indicating where new items can be added.

- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- [基本属性]タブ … 項目名 → 「no」、データタイプ → 「予約変数」、データ → 「\$rowcur(現在のデータ行の行番号)」、大きさの変更、配置の変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定

The screenshot shows the '項目属性編集' (Item Attribute Edit) dialog box. The '基本属性' (Basic Attribute) tab is selected, showing fields for item name, type, data type, and data. The '項目罫線/背景' (Item Border/Background) tab is also visible, showing settings for borders and background color.

- (3) 項目が作成されました。

The screenshot shows the form after adding items. The item table now contains three rows, each starting with '\$rowcur' in the left margin, highlighted by a red box.

5.3.3. 品名の追加

- (1) 項目を追加します。

注文書

ページ: \$pagecur/\$pages

注文日付: \$timestart

注文番号: orderno

発注先: orderto御中

下記の条件により注文いたします。

件名: subject

本体金額: header_subtotal

消費税額: header_excise

合計金額: header_total

支払い方法: paycond

納入場所: 上記迄

納期: delivveryday

*明細備考: listremarks

項目	品名	数量	単価	金額	備考
\$rowcur					
\$rowcur					
\$rowcur					
\$rowcur					

- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「product」、項目タイプ → 「文字枠」、データタイプ → 「データ項目変数」、データ → 「\$1(品名)」、大きさの変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定

項目属性編集

基本属性 | 項目罫線/背景 | 文字枠

基本属性(B)

項目名 product

項目タイプ 文字枠

データタイプ データ項目変数

データ \$1(品名)

大きさ(S)

幅 140 高さ 16.6695

配置(P)

横位置 左詰め

縦位置 中央揃え

項目余白(W)

上余白 1mm

左余白 1mm 右余白 1mm

下余白 1mm

分割線(L)

分割数 0 太さ 0

色 黒

その他の色(1)

線種 実線

☐ 同一データは省略する

コメント(D)

OK キャンセル

- (3) 連結機能を使用して、選択した項目(A)に選択した項目(B)を連結させます。

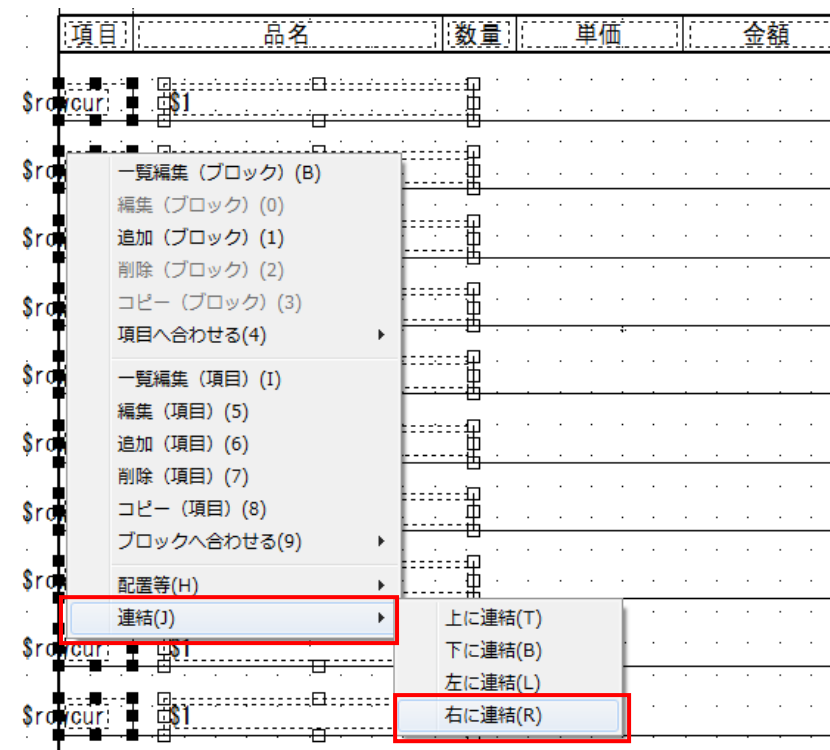
今回は、項目(A)「項目」に項目(B)「品名」を連結させます。

連結したい項目をクリックします。

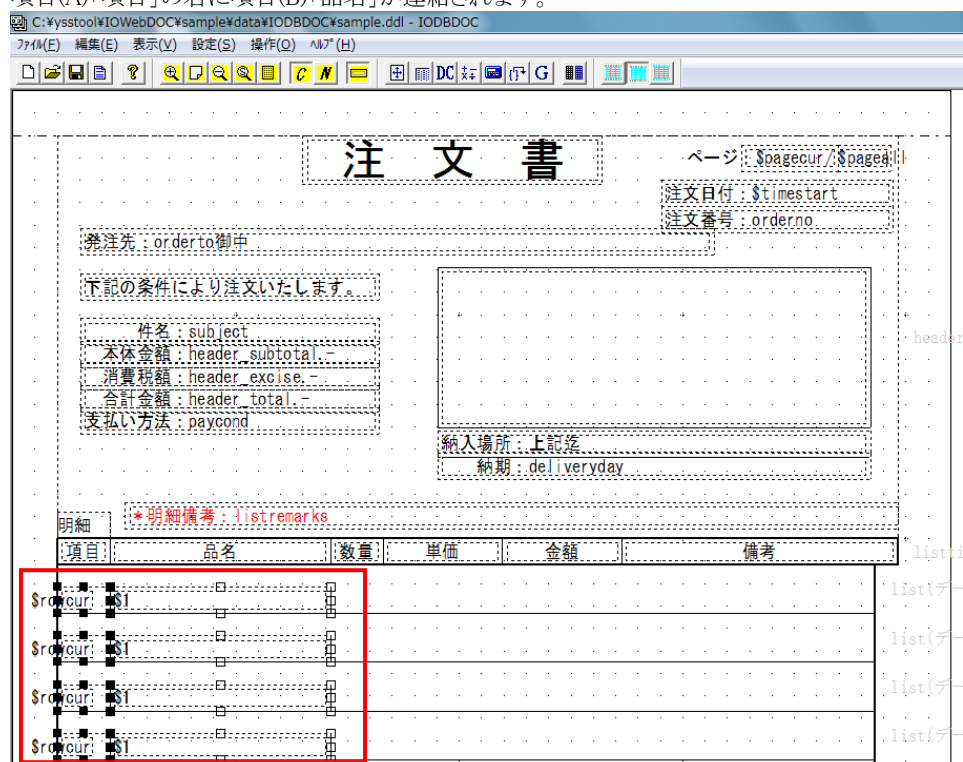
主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。

選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。

メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。



- (4) 項目(A)「項目」の右に項目(B)「品名」が連結されます。



5.3.4. 数量の追加

(1) 品名の右隣に項目を追加します。

(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「quant」、データタイプ → 「データ項目変数」、データ → 「\$2(数量)」、大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定

(3) 項目(A)「品名」に項目(B)「数量」を連結させます。

主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。

選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。

メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

(4) 項目(A)「品名」の右に項目(B)「数量」が連結されます。

5.3.5. 単価の追加

- (1) 数量の右隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「quant」、データタイプ → 「データ項目変数」、データ → 「\$2(数量)」、大きさの変更、配置の変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定
 - [テキスト]タブ … 書式: 書式 → 「¥¥¥,¥¥¥,¥¥9」

項目属性編集

基本属性 | 項目罫線/背景 | テキスト |

基本属性(B)

項目名 unit

項目タイプ テキスト

データタイプ データ項目変数

データ \$2(単位)

大きさ(S)

幅 75 高さ 16.6695

配置(P)

横位置 右詰め

縦位置 中央揃え

項目余白(W)

上余白 1mm

左余白 1mm 右余白 1mm

下余白 1mm

分割線(L)

分割数 0 太さ 0

色 黒

その他の色(I)

線種 実線

☐ 同一データは省略する

コメント(I)

OK キャンセル

項目属性編集

基本属性 | 項目罫線/背景 | テキスト |

文字(I)

文字サイズ 11

デフォルトフォント ゴシック

フォント ゴシック

色 黒

その他の色(I)

倍角 100 %

☐ 強調表示

☐ 斜体

位置(B)

全角文字間隔 0

半角文字間隔 0

出力制御 なし

書式(F)

書式 ¥¥¥,¥¥¥,¥¥9

日付時間書式(D)

付加文字 左

付加文字 右

下線(U)

なし

実線

その他

線幅: 0

色 黒

その他の色

☐ データに幅を合わせる

OK キャンセル

- (3) 項目(A)「数量」に項目(B)「単価」を連結させます。

主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。

選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。

メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。
- (4) 項目(A)「数量」の右に項目(B)「単価」が連結されます。

5.3.6. 金額の追加

- (1) 単価の右隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「price」、データタイプ → 「計算式」、データ → 「htoa(明細のprice列で使用)」
 - [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定
 - [テキスト]タブ … 書式: 書式 → 「¥¥¥,¥¥¥,¥¥9」

- (3) 項目(A)「単価」に項目(B)「金額」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

- (4) 項目(A)「単価」の右に項目(B)「金額」が連結されます。

5.3.7. 備考の追加

- (1) 金額の右隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「remarks」、項目タイプ → 「文字枠」、データタイプ → 「データ項目変数」、データ → 「\$4(備考)」、大きさの変更、分割線: 分割数 → 「5」、線種 → 「破線」
 - [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定

- (3) 項目(A)「金額」に項目(B)「備考」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

- (4) 項目(A)「金額」の右に項目(B)「備考」が連結されます。

項目	品名	数量	単価	金額	備考
\$rowcur	\$1	\$2	\$3	\$4	\$5
\$rowcur	\$1	\$2	\$3	\$4	\$5
\$rowcur	\$1	\$2	\$3	\$4	\$5
\$rowcur	\$1	\$2	\$3	\$4	\$5
\$rowcur	\$1	\$2	\$3	\$4	\$5

(5) 作成した項目の幅と高さにブロックを合わせます。

ブロック操作モードに変更してください。

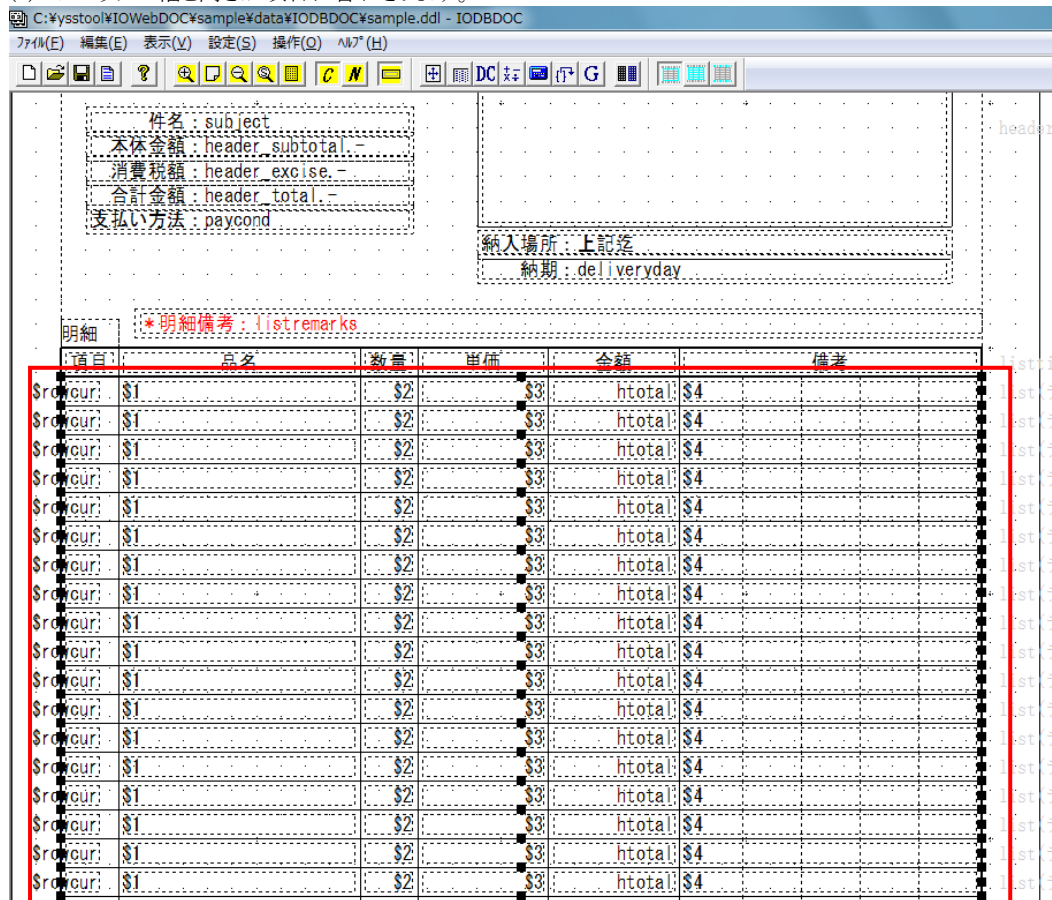
(6) データブロックをクリックします。

データブロックを選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックします。

メニューバーから「項目へ合わせる」→「幅と高さ」を選択します。



(7) ブロックの幅と高さが項目に合致します。



5.4.1. ブロック(小計)の追加

- (1) データブロックを 1 行で表示します。

メニューバーより、「表示」→「データブロックを 1 行で表示」を選択します。

注文書

ページ: \$pagecur/\$pageall

注文日付: \$timestart

注文番号: orderno

発注先: orderto御中

下記の条件により注文いたします。

件名: subject

本体金額: header_subtotal.-

消費税額: header_excise.-

合計金額: header_total.-

支払い方法: paycond

納入場所: 上記迄

納期: deliveryday

*明細備考: listremarks

項目	品名	数量	単価	金額	備考
\$rowcur: \$1		\$2	\$3	htotal: \$4	

- (2) データブロックの下に、ブロックを追加します。

注文書

ページ: \$pagecur/\$pageall

注文日付: \$timestart

注文番号: orderno

発注先: orderto御中

下記の条件により注文いたします。

件名: subject

本体金額: header_subtotal.-

消費税額: header_excise.-

合計金額: header_total.-

支払い方法: paycond

納入場所: 上記迄

納期: deliveryday

*明細備考: listremarks

項目	品名	数量	単価	金額	備考
\$rowcur: \$1		\$2	\$3	htotal: \$4	

block1 (new block added)

(3) [ブロック属性編集]画面にて、ブロック属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … ブロック名 → 「subtotal」、出力タイプ → 「文書の終わり」、
固定位置に出力する → チェックを外す
- [ブロック罫線/背景]タブ … 上下左右の罫線 線幅 → 「1.5」

ブロック属性編集

基本属性 | ブロック罫線/背景 | 属性変更

基本設定①

ブロック名: subtotal

出力タイプ: 文書の終わり

☐ 固定位置に出力する

上間隔: 0

☐ 行数を指定する

基本行数: 0

☐ 空行を出力する

前ブレーク

☐ ページ最後に出力しない
(ページ先頭に強制出力)

後ブレーク

☒ ページ先頭に出力しない
(ページの最後に強制出力)

コメント(M):

前ブレーク設定(B)

ブレーク条件: 出力ブロック: コマ

追加(1) コピー(2) 削除(3)

後ブレーク設定(A)

ブレーク条件: 出力ブロック: コマ

追加(4) コピー(5) 削除(6)

OK キャンセル

(4) 文書の終わりブロック(小計)が作成されました。

C:\ysstool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\sample.ddl - IOBDOC

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 設定(S) 操作(O) ヘルプ(H)

注文書

ページ: \$pagecur/\$pageall

注文日付: \$timestart

注文番号: orderno

注文先: orderto御中

下記の条件により注文いたします。

件名: subject

本体金額: header_subtotal

消費税額: header_excise

合計金額: header_total

支払い方法: paycond

納入場所: 上記宛

納期: deliveryday

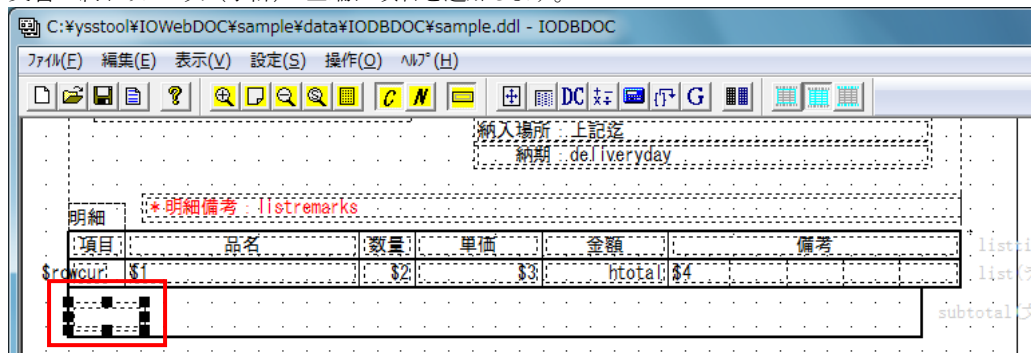
*明細備考: listremarks

項目	品名	数量	単価	金額	備考
\$rowcur	\$1	\$2	\$3	total: \$4	

list: subtotal

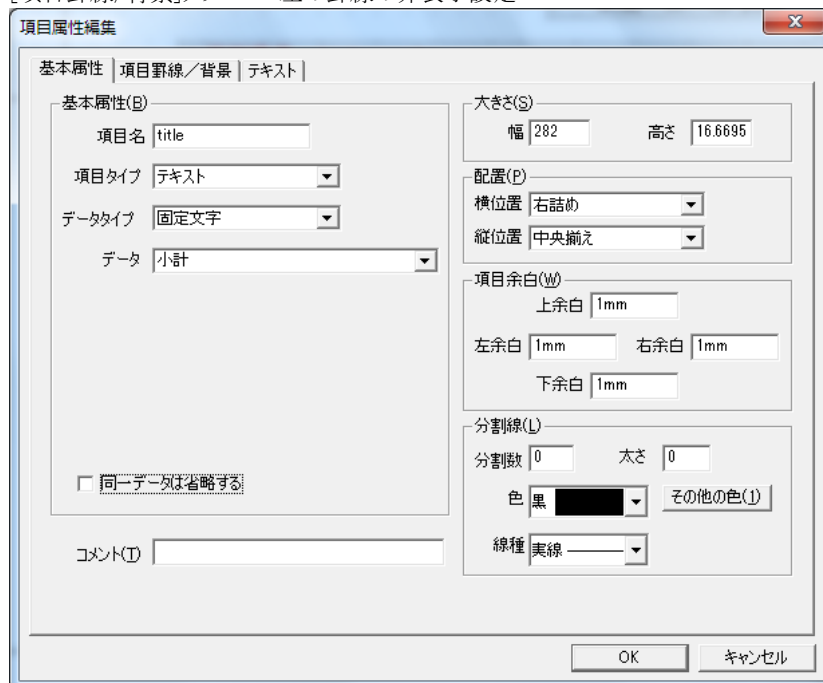
5.4.2. 小計(固定文字列)の追加

(1) 文書の終わりブロック(小計)の左端に項目を追加します。

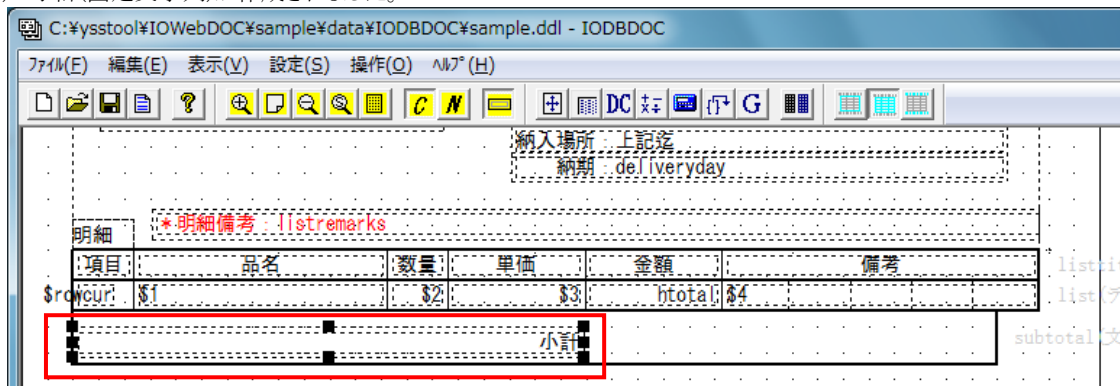


(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「title」、データ → 「小計」、
大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定



(3) 小計(固定文字列)が作成されました。



5.4.3. 小計(金額表示欄)の追加

- (1) 小計の右隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「price」、データタイプ → 「計算式」、データ → 「subtotal(明細の一番最後で使用。結果を…。)」、大きさの変更、配置の変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定
 - [テキスト]タブ … 書式: 書式 → 「¥¥¥,¥¥¥,¥¥9」

項目属性編集

基本属性 | 項目罫線/背景 | テキスト

基本属性(B)

項目名 price

項目タイプ テキスト

データタイプ 計算式

データ subtotal(明細の一番最後で使用。結果を…。)

大きさ(S)

幅 75 高さ 16.6695

配置(P)

横位置 右詰め

縦位置 中央揃え

項目余白(M)

上余白 1mm

左余白 1mm 右余白 1mm

下余白 1mm

分割線(L)

分割数 0 太さ 0

色 黒

その他の色(I)

線種 実線

☐ 同一データは省略する

コメント(D)

OK キャンセル

- (3) 項目(A)「小計(固定文字列)」に項目(B)「小計(金額表示欄)」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

- (4) 項目(A)「小計(固定文字列)」の右に項目(B)「小計(金額表示欄)」が連結されます。

C:\¥systool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\sample.ddl - IOBDOC

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(S) 操作(Q) ヘルプ(H)

注文書

ページ 1/1

注文日付 \$timestart

注文番号 orderno

受注先 orderto御中

下記の条件により注文いたします。

件名 subject

本体金額 header_subtotal

消費税額 header_excise

合計金額 header_total

支払い方法 paycond

納入場所 東京都

納期 deliveryday

*明細備考 listremark

項目	品名	数量	単位	金額	備考
\$rowcur	\$1	\$2	\$3	btotal \$4	
小計				subtotal	

5.4.4. 小計(空欄)の追加

- (1) 小計(金額表示欄)の右隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「remarks」、大きさの変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定

- (3) 項目(A)「小計(金額表示欄)」に項目(B)「小計(空欄)」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

- (4) 項目(A)「小計(金額表示欄)」の右に項目(B)「小計(空欄)」が連結されます。

- (5) 作成した項目の幅と高さにブロックを合わせます。
ブロック操作モードに変更してください。
- (6) 文書の終わりブロック(小計)をクリックします。
文書の終わりブロックを選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックします。
メニューバーから「項目へ合わせる」→「幅と高さ」を選択します。
- (7) ブロックの幅と高さが項目に合致します。

C:\sysstool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\sample.ddl - IOBDOC

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 設定(S) 操作(Q) ヘルプ(H)

注文書

ページ: \$pagecur/\$pagedt

注文日付: \$timestart

注文番号: orderno

※注文先: orderto御中

下記の条件により注文いたします。

件名: subject

本体金額: header_subtotal -

消費税額: header_excise -

合計金額: header_total -

支払い方法: paycond

納入場所: 上記迄

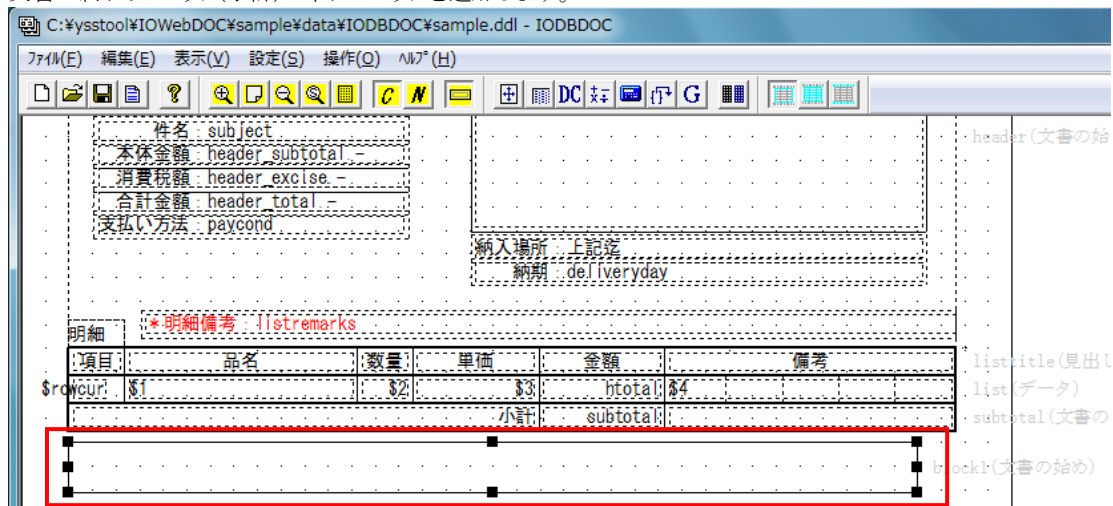
納期: deliveryday

* 明細備考: listremarks

項目	品名	数量	単価	金額	備考
\$itemno	\$itemname	\$qty	\$unitprice	\$amount	\$remarks
小計				subtotal	

5.4.5. ブロック(消費税額)の追加

- (1) 文書の終わりブロック(小計)の下にブロックを追加します。



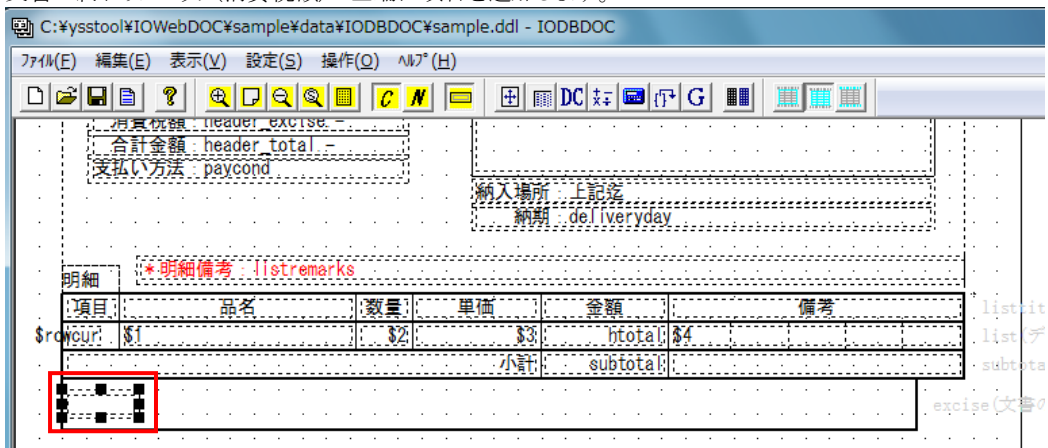
- (2) [ブロック属性編集]画面にて、ブロック属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … ブロック名 → 「excise」、出力タイプ → 「文書の終わり」、
固定位置に出力する → チェックを外す
- [ブロック罫線/背景]タブ … 上下左右の罫線 線幅 → 「1.5」



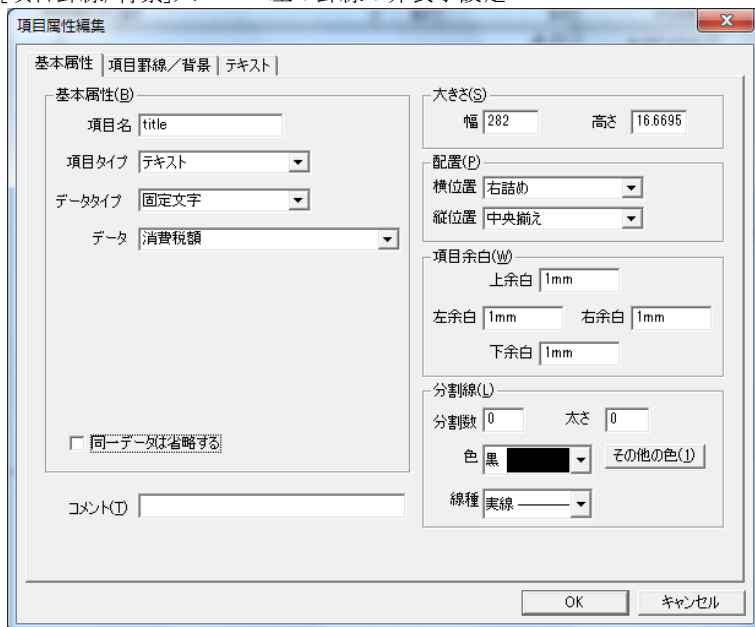
5.4.6. 消費税額(固定文字列)の追加

(1) 文書の終わりブロック(消費税額)の左端に項目を追加します。

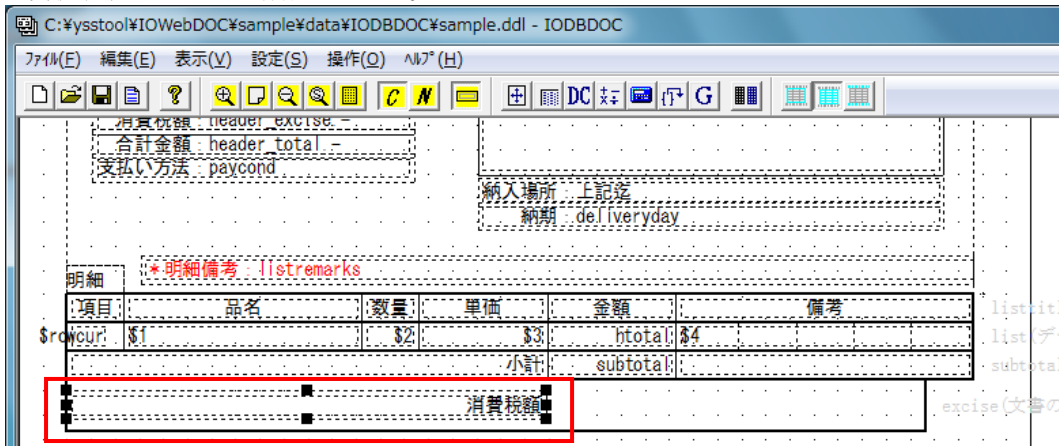


(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「title」、データ → 「消費税額」、大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定



(3) 消費税額(固定文字列)が作成されました。



5.4.7. 消費税額(金額表示欄)の追加

- (1) 消費税額(固定文字列)の隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「price」、データタイプ → 「計算式」、データ → 「excise(明細の一番最後で使用。結果を外部変数に保存して、各ページの先頭で使用)」、大きさの変更、配置の変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定
 - [テキスト]タブ … 書式: 書式 → 「¥¥¥,¥¥¥,¥¥9」

- (3) 項目(A)「消費税額(固定文字列)」に項目(B)「消費税額(金額表示欄)」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。
- (4) 項目(A)「消費税額(固定文字列)」の右に項目(B)「消費税額(金額表示欄)」が連結されます。

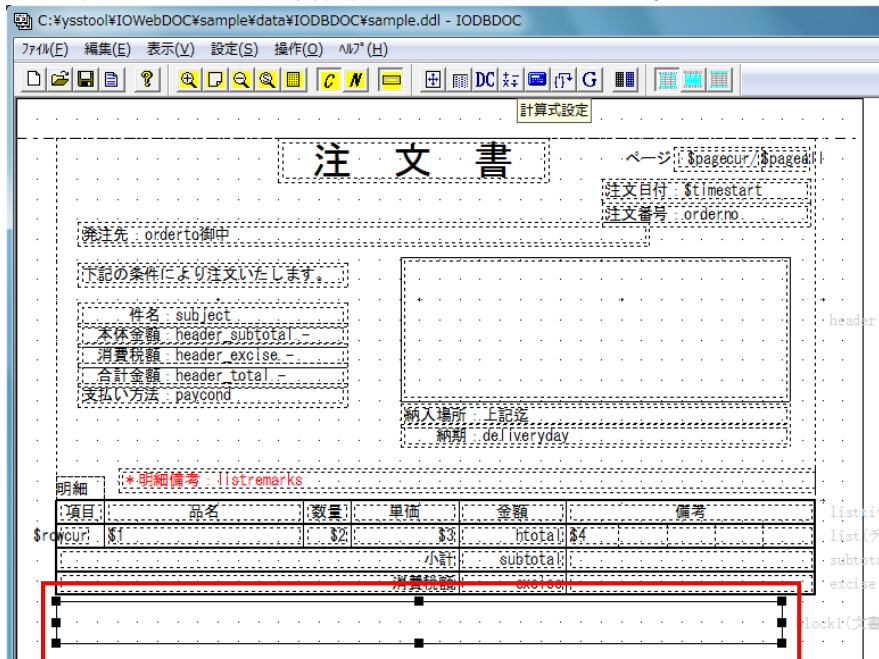
5.4.8. 消費税額(空欄)の追加

- (1) 消費税額(金額表示欄)の隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「remarks」、大きさの変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定

- (3) 項目(A)「消費税額(金額表示欄)」に項目(B)「消費税額(空欄)」を連結させます。
主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。
- (4) 項目(A)「消費税額(金額表示欄)」の右に項目(B)「消費税額(空欄)」が連結されます。
- (5) 作成した項目の幅と高さにブロックを合わせます。ブロック操作モードに変更してください。
- (6) 文書の終わりブロック(消費税額)をクリックします。文書の終わりブロックを選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックします。
メニューバーから「項目へ合わせる」→「幅と高さ」を選択します。ブロックの幅と高さが項目に合致します。

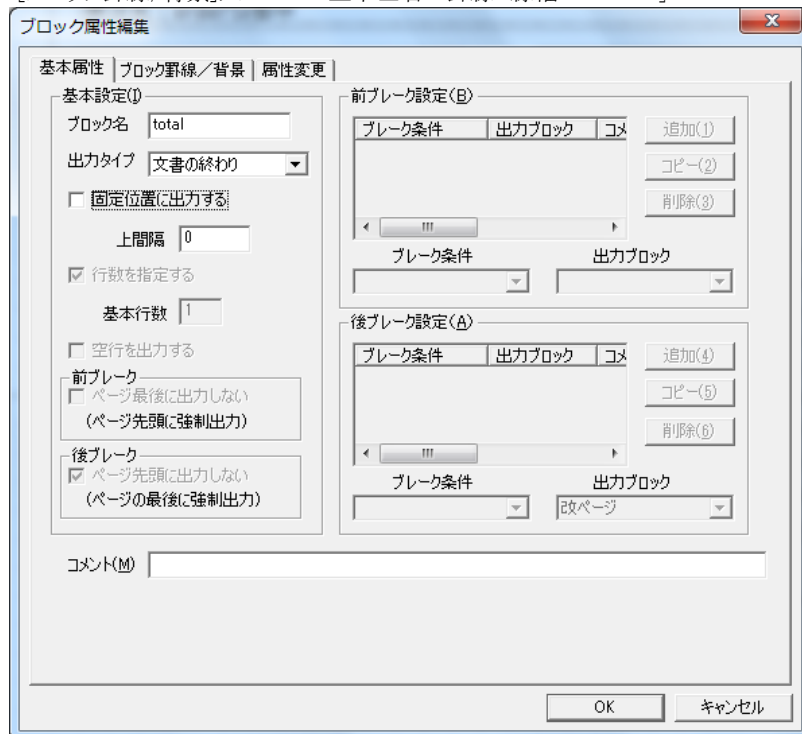
5.4.9. ブロック(合計)の追加

(1) 文書の終わりブロック(消費税額)の下にブロックを追加します。



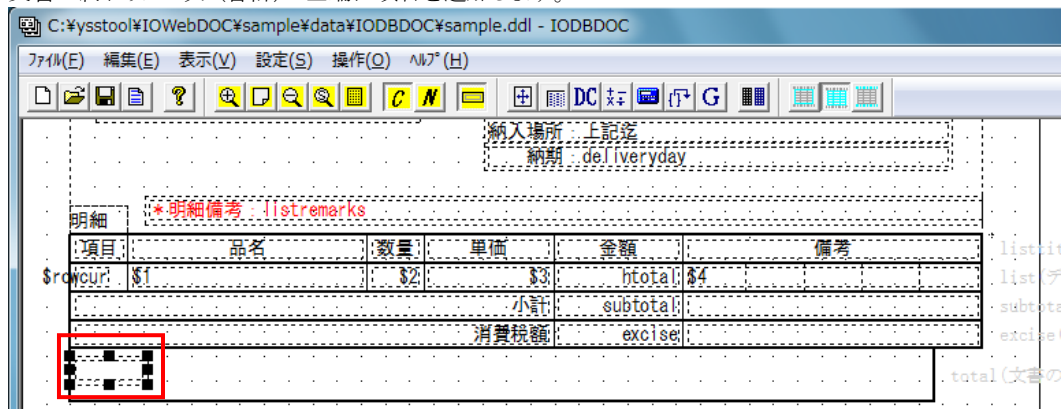
(2) [ブロック属性編集]画面にて、ブロック属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … ブロック名 → 「total」、出力タイプ → 「文書の終わり」、固定位置に出力する → チェックを外す
- [ブロック罫線/背景]タブ … 上下左右の罫線 線幅 → 「1.5」



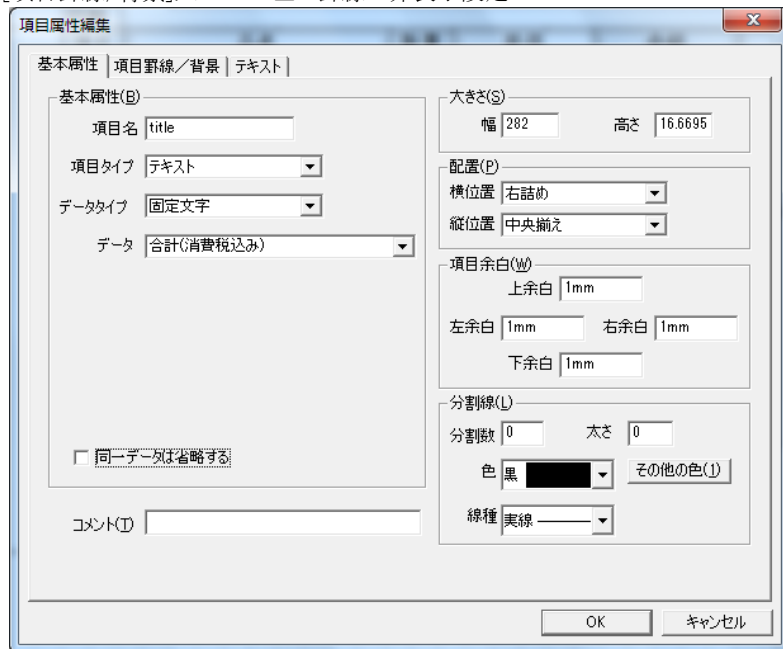
5.4.10. 合計(固定文字列)の追加

(1) 文書の終わりブロック(合計)の左端に項目を追加します。

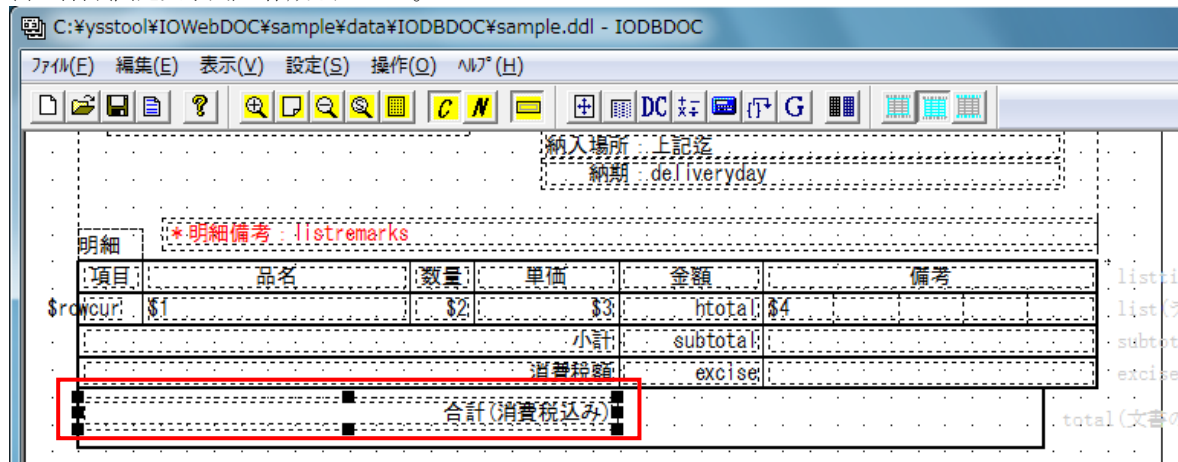


(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「title」、データ → 「合計(消費税込み)」、大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定



(3) 合計(固定文字列)が作成されました。



5.4.11. 合計(金額表示欄)の追加

- (1) 合計(固定文字列)の隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「price」、データタイプ → 「計算式」、データ → 「total(明細の一番最後で使用。結果を外部変数に保存して、各ページの先頭で使用)」、大きさの変更、配置の変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左の罫線の非表示設定
 - [テキスト]タブ … 書式: 書式 → 「¥¥¥,¥¥¥,¥¥9」

- (3) 項目(A)「合計(固定文字列)」に項目(B)「合計(金額表示欄)」を連結させます。
 主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
 選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
 メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。

- (4) 項目(A)「合計(固定文字列)」の右に項目(B)「合計(金額表示欄)」が連結されます。

項目	品名	数量	単価	金額	備考
\$1		\$2	\$3	total	\$4
小計				subtotal	
消費税額				excise	
合計(消費税込み)				total	

5.4.12. 合計(空欄)の追加

- (1) 合計(金額表示欄)の隣に項目を追加します。
- (2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - [基本属性]タブ … 項目名 → 「remarks」、大きさの変更
 - [項目罫線/背景]タブ … 左右の罫線の非表示設定

- (3) 項目(A)「合計(金額表示欄)」に項目(B)「合計(空欄)」を連結させます。
主体となる項目(A)を最後にクリックし、黒色四角表示させます。項目(B)は白色四角表示となります。
選択した状態で、項目(A)上でマウスの右ボタンをクリックします。
メニューバーから、「連結」→「右に連結」を選択します。
- (4) 項目(A)「合計(金額表示欄)」の右に項目(B)「合計(空欄)」が連結されます。
- (5) 作成した項目の幅と高さにブロックを合わせます。ブロック操作モードに変更してください。
- (6) 文書の終わりブロック(合計)をクリックします。文書の終わりブロックを選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックします。
メニューバーから「項目へ合わせる」→「幅と高さ」を選択します。ブロックの幅と高さが項目に合致します。

5.4.13. ブロック(メモ)の追加

- (1) ブロックを追加します。

The screenshot shows the IOWebDOC editor interface. The title bar indicates the file path: C:\ysstool\IOWebDOC\sample\data\IOBDOC\sample.ddl - IOBDOC. The menu bar includes File (F), Edit (E), View (V), Settings (S), Operations (O), and Help (H). The toolbar contains various icons for document manipulation. The main workspace displays a document layout for an '注文書' (Order Form). The layout includes a header section with fields for '注文先' (Order To: order to 御中), '注文日付' (Order Date: \$timestart), and '注文番号' (Order No: order no). Below this is a section for '下記の条件により注文いたします。' (I will place an order under the following conditions.) with fields for '件名' (Subject: subject), '本体金額' (Main Amount: header_subtotal), '消費税額' (Consumption Tax Amount: header_excise), '合計金額' (Total Amount: header_total), and '支払い方法' (Payment Method: paycond). A table section follows, with a header row containing '項目' (Item), '品名' (Item Name), '数量' (Quantity), '単価' (Unit Price), '金額' (Amount), and '備考' (Remarks). The table body includes rows for '小計' (Subtotal: subtotal), '消費税額' (Consumption Tax Amount: excise), and '合計(消費税込み)' (Total (including consumption tax): total). A red box highlights a block at the bottom of the table, indicating where a new block can be added.

- (2) [ブロック属性編集]画面にて、ブロック属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … ブロック名 → 「memo」、出力タイプ → 「文書の終わり」
固定位置に出力する → チェックを外す
- [ブロック罫線/背景]タブ … 上下左右の罫線の非表示設定

The screenshot shows the 'ブロック属性編集' (Block Attribute Edit) dialog box. The '基本属性' (Basic Attribute) tab is selected. The '基本設定' (Basic Setting) section includes fields for 'ブロック名' (Block Name: memo), '出力タイプ' (Output Type: 文書の終わり), and checkboxes for '固定位置に出力する' (Output at fixed position), '空行を出力する' (Output blank lines), and '前ブレイク' (Front Break). The '後ブレイク' (Back Break) section has a checkbox for 'ページ先頭に出力しない' (Do not output at page start) and a checkbox for 'ページの最後に強制出力' (Force output at the end of page). The '前ブレイク設定' (Front Break Setting) and '後ブレイク設定' (Back Break Setting) sections each have a 'ブレイク条件' (Break Condition) dropdown, an '出力ブロック' (Output Block) dropdown, and buttons for '追加' (Add), 'コピー' (Copy), and '削除' (Delete). The 'コメント' (Comment) field is at the bottom. The 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom right.

5.4.14. 文字枠の追加

(1) 文書の終わりブロック内に項目を追加します。

(2) [項目属性編集]画面にて、項目属性を編集し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- [基本属性]タブ … 項目名 → 「item1」、項目タイプ → 「文字枠」、データ → 入力、大きさの変更、配置の変更
- [項目罫線/背景]タブ … 上下左右の罫線の表示設定
- [文字枠]タブ … 文字 : 文字サイズ → 「14」

(3) 項目を選択し、黒四角をクリックして、項目幅を決定します。

ブロック上部にスペースを設けると、帳票作成時、合計欄との間にスペースができます。

スペース

6章. 最後に

6.1. レイアウト確認

全て完成したら、プレビューをします。[\[3.8 プレビュー\]](#)

データには ordersheet.dat を指定してください。外部変数には ordersheetgbl.dat を指定してください。

プレビュー

データ(D)

ファイル: C:\temp\ordersheet.dat 参照(B)...

メモ帳で編集(N) 編集(E) デフォルト(U) テストデータ作成(T)

外部変数(G)

ファイル: C:\temp\ordersheetgbl.dat 参照...

メモ帳で編集 編集 デフォルト テストデータ作成

実行フォルダ(F)

フォルダ: 参照(W)...

データと同じフォルダ(Q)

PDF

☐ PDFでプレビュー(PDFファイルは、削除されません)

ファイル: 参照...

☐ 項目余白を出力する(M) プレビュー(V) 整合性テスト(S) 閉じる(C)

6.2. その他の機能

IOBDOC は、本マニュアルで説明している機能以外にも便利な機能があります。ご活用ください。

IOBDOC 簡易マニュアル

初版 : September 9, 2015

株式会社ワイ・エス・エス

TEL: 044-211-9332

URL: <http://www.iothe.co.jp>